

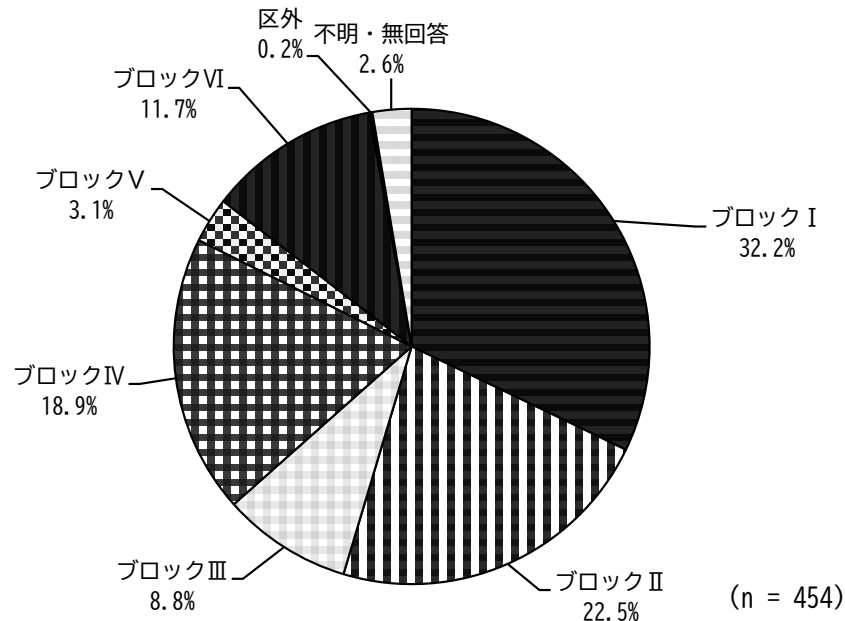
(6) 若者 (18歳~39歳) 調査

<若者（18歳～39歳）の集計結果>

1. 本人の属性について

(1) 居住地区

問1 お住まいはどこですか。

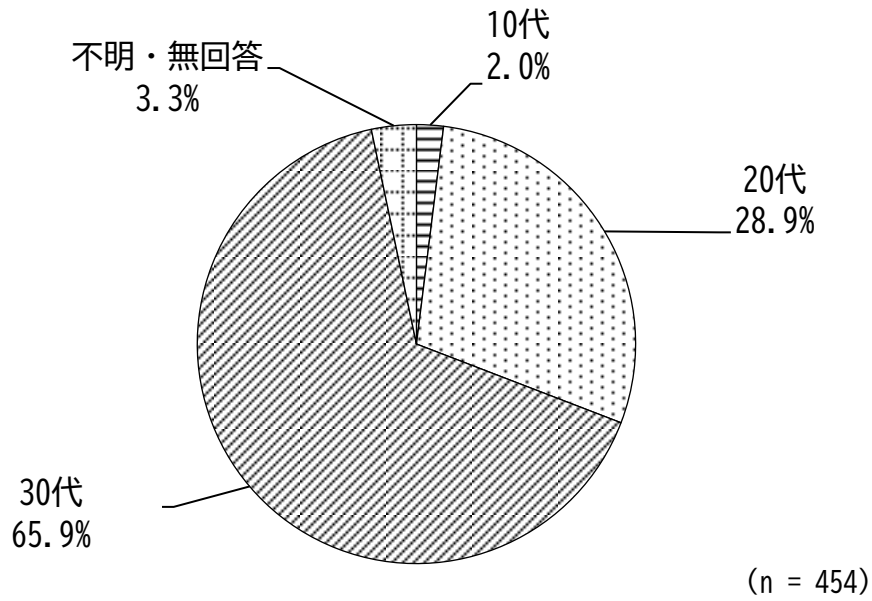


ブロック	対象地域
ブロックI	元浅草1～4丁目、寿1～4丁目、駒形1～2丁目、台東1～4丁目、小島1～2丁目、三筋1～2丁目、蔵前1～4丁目、鳥越1～2丁目、浅草橋1～5丁目、柳橋1～2丁目
ブロックII	松が谷1～4丁目、西浅草1～3丁目、雷門1～2丁目、花川戸1～2丁目、浅草1～6丁目
ブロックIII	浅草7丁目、日本堤1～2丁目、東浅草1～2丁目、清川1～2丁目、橋場1～2丁目、今戸1～2丁目
ブロックIV	根岸1～5丁目、三ノ輪1～2丁目、竜泉1～3丁目、入谷1～2丁目、千束1～4丁目、下谷2～3丁目
ブロックV	池之端3～4丁目、谷中1～7丁目、上野桜木1～2丁目
ブロックVI	上野公園、北上野1～2丁目、東上野1～6丁目、上野1～7丁目、秋葉原、池之端1～2丁目、下谷1丁目

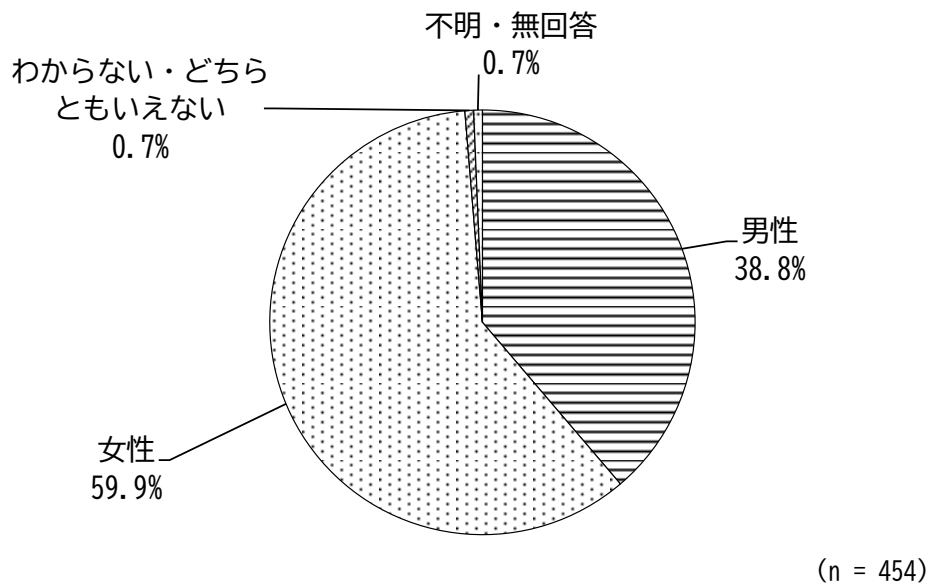
（2）年齢と性別

問2 生年月をご記入ください。

※年代別に集計



問3 性別はどちらですか。



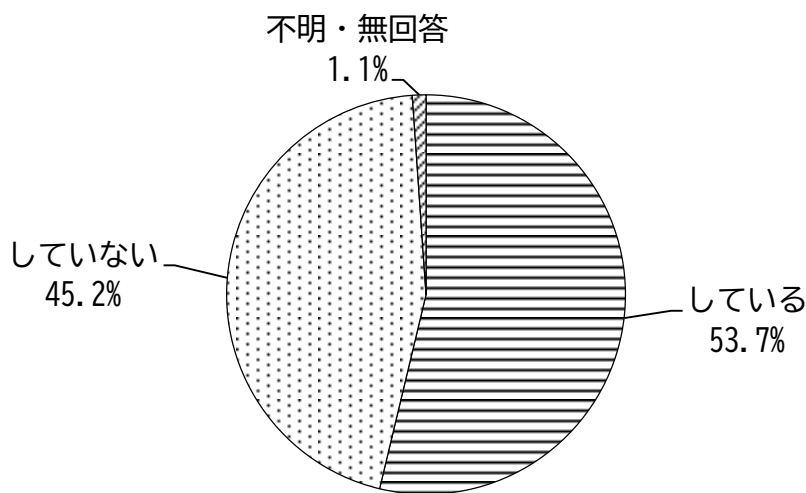
2. 本人と家族について

(1) 結婚について

問4 結婚(事実婚を含む)をしていますか。

結婚の有無については、「している」が53.7%、「していない」が45.2%となっています。

年代別では、「していない」が多いのは“18, 19歳”で100%と最も高く、“20～24歳”で97.5%、“25～29歳”では65.9%となっています。「している」が多いのは30歳以上で、“30～34歳”で56.7%、“35～39歳”で75.6%となっています。



(n = 454)

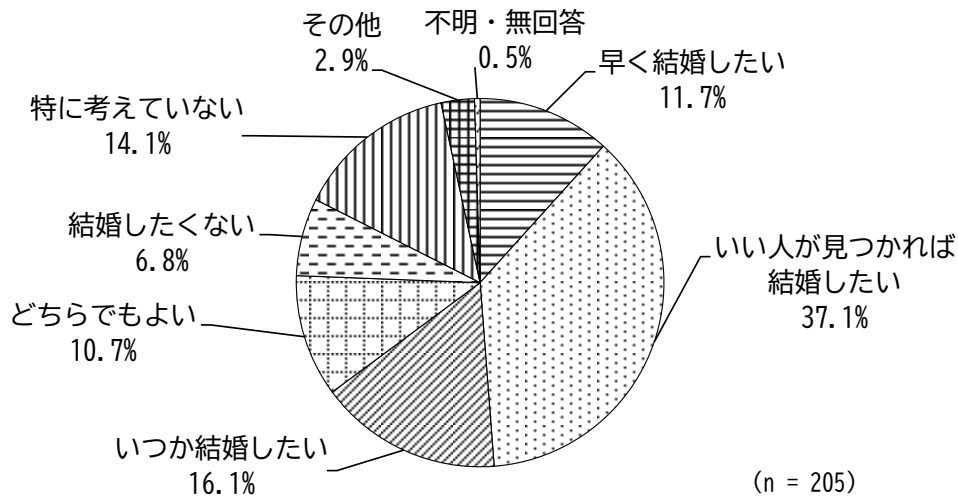
年齢別

		合計	している	していない	不明・無回答
全体	人数	454	244	205	5
	構成比	100.0	53.7	45.2	1.1
18, 19歳	人数	9	0	9	0
	構成比	100.0	0.0	100.0	0.0
20～24歳	人数	40	1	39	0
	構成比	100.0	2.5	97.5	0.0
25～29歳	人数	91	31	60	0
	構成比	100.0	34.1	65.9	0.0
30～34歳	人数	127	72	54	1
	構成比	100.0	56.7	42.5	0.8
35～39歳	人数	172	130	41	1
	構成比	100.0	75.6	23.8	0.6
不明・無回答	人数	15	10	2	3
	構成比	100.0	66.7	13.3	20.0

1位：白文字、2位：太文字

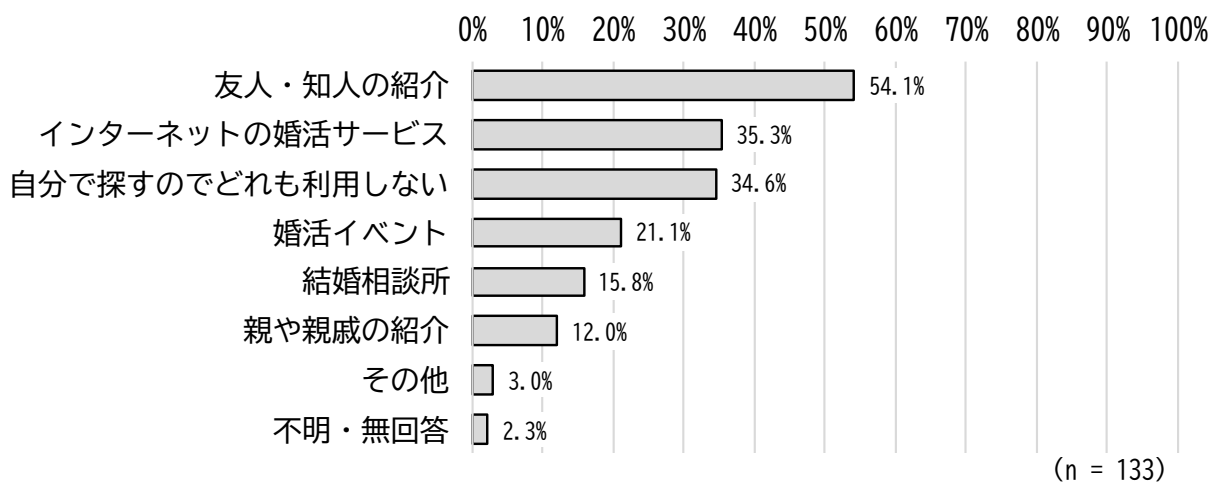
問4-1 問4で「していない」と回答された方にうかがいます。今後、結婚することに対してどのように考えていますか。

今後、結婚することについては、「いい人が見つければ結婚したい」が37.1%と最も高く、次いで「いつか結婚したい」が16.1%となっています。



問4-2 問4-1で「早く結婚したい」、「いい人が見つければ結婚したい」、「いつか結婚したい」と回答された方にうかがいます。結婚相手を探すときに、利用したいと思うサービス・手段はありますか。（複数回答）

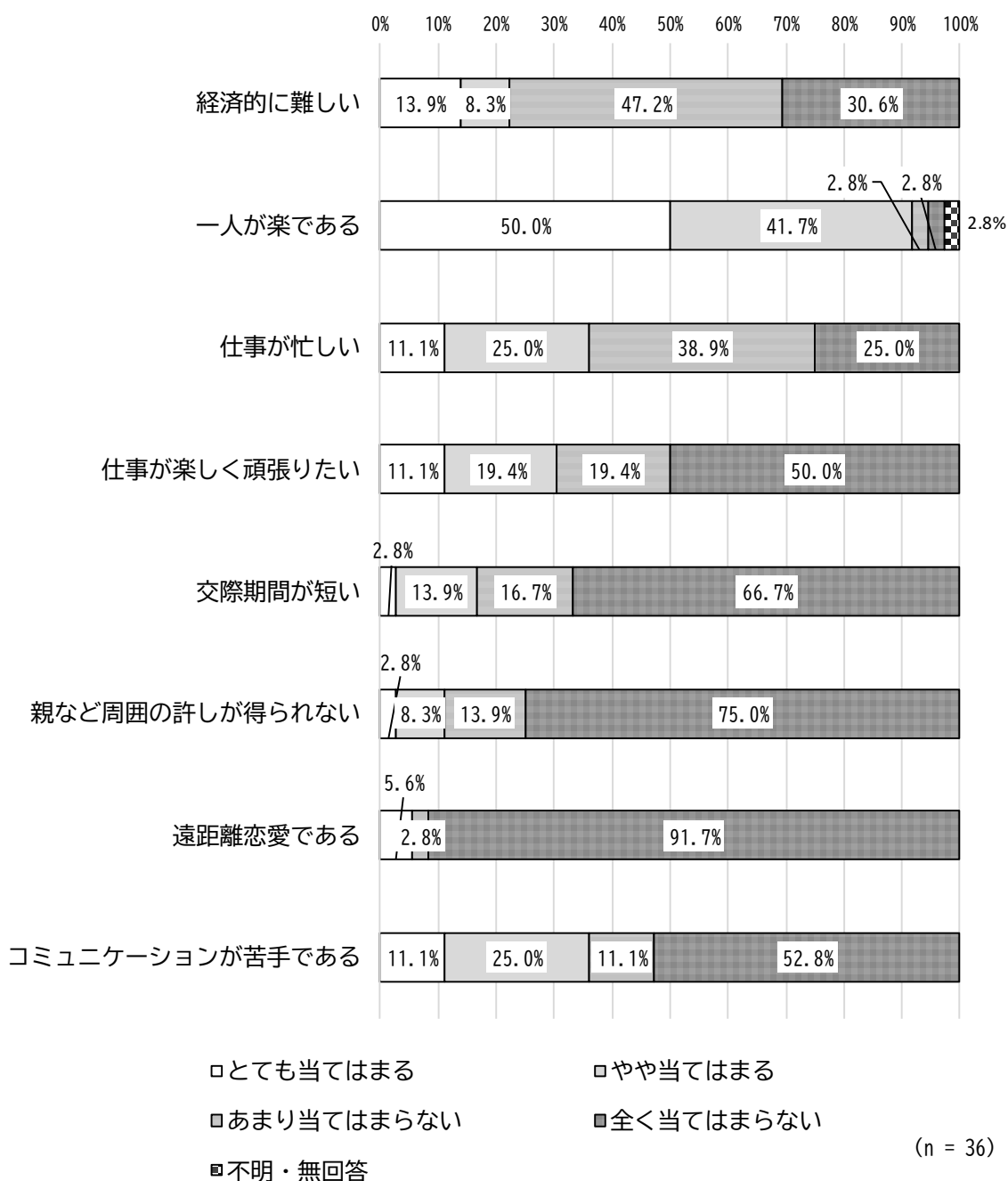
利用したいと思うサービス・手段については、「友人・知人の紹介」が54.1%と最も高く、次いで「インターネットの婚活サービス」が35.3%となっています。



問4-3 問4-1で「どちらでもよい」「結婚したくない」と回答された方にうかがいます。結婚していない理由は何ですか。

結婚をしていない理由について、“とても当てはまる”と回答した方で最も多かったのは「一人が楽である」が50.0%となっており、次いで「経済的に難しい」が13.9%、「仕事が忙しい」、「仕事が楽しく頑張りたい」、「コミュニケーションが苦手である」がそれぞれ11.1%となっています。

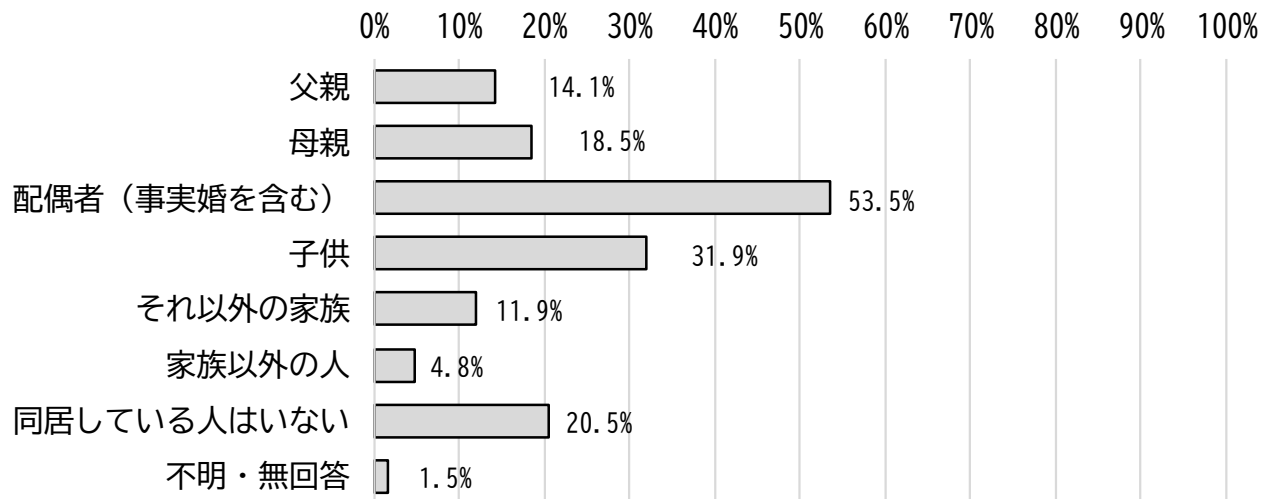
“やや当てはまる”の回答では多い順に、「一人が楽である」が41.7%、「仕事が忙しい」及び「コミュニケーションが苦手である」がともに25.0%となっています。



(2) 家族関係

問5 同居している方はどなたですか。（複数回答）

同居している人物については「配偶者（事実婚を含む）」が53.5%と最も高く、次いで「子供」が31.9%となっています。

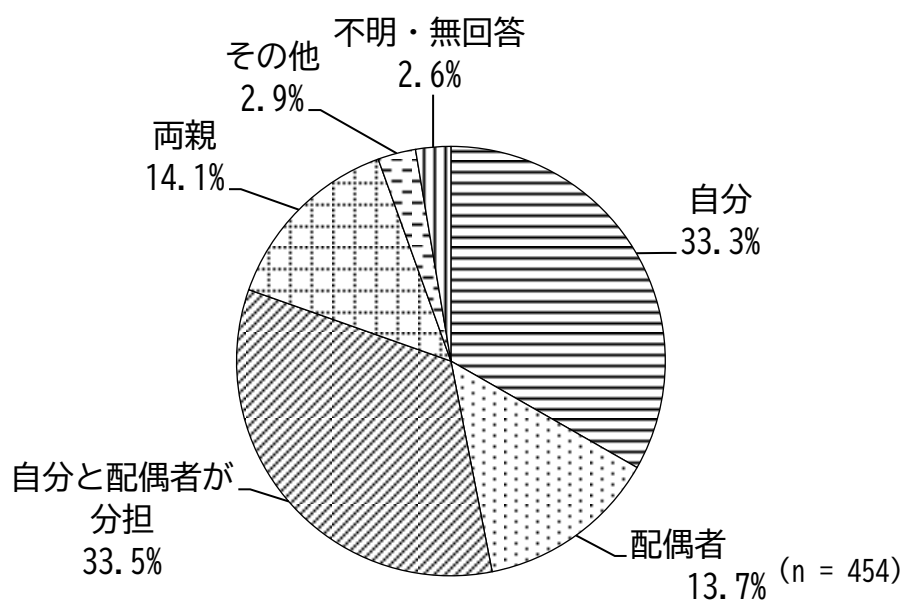


(n = 454)

問6 家庭で主に生計を立てているのは誰ですか。

主に生計を立てている人物について「自分と配偶者が分担」が33.5%と最も高く、次いで「自分」が33.3%となっています。

年代別でみると“18, 19歳”、“20～24歳”では「両親」の割合が多く、“25～29歳”では「自分」、「30～34歳」、「35～39歳」では「自分と配偶者が分担」となっています。



年齢別

		合計	自分	配偶者	自分と配偶者が分担	両親	その他	不明・無回答
全体	人数	454	151	62	152	64	13	12
	構成比	100.0	33.3	13.7	33.5	14.1	2.9	2.6
18, 19歳	人数	9	0	1	0	7	0	1
	構成比	100.0	0.0	11.1	0.0	77.8	0.0	11.1
20～24歳	人数	40	8	0	1	26	3	2
	構成比	100.0	20.0	0.0	2.5	65.0	7.5	5.0
25～29歳	人数	91	36	3	28	18	6	0
	構成比	100.0	39.6	3.3	30.8	19.8	6.6	0.0
30～34歳	人数	127	42	17	52	10	3	3
	構成比	100.0	33.1	13.4	40.9	7.9	2.4	2.4
35～39歳	人数	172	61	38	66	3	1	3
	構成比	100.0	35.5	22.1	38.4	1.7	0.6	1.7
不明・無回答	人数	15	4	3	5	0	0	3
	構成比	100.0	26.7	20.0	33.3	0.0	0.0	20.0

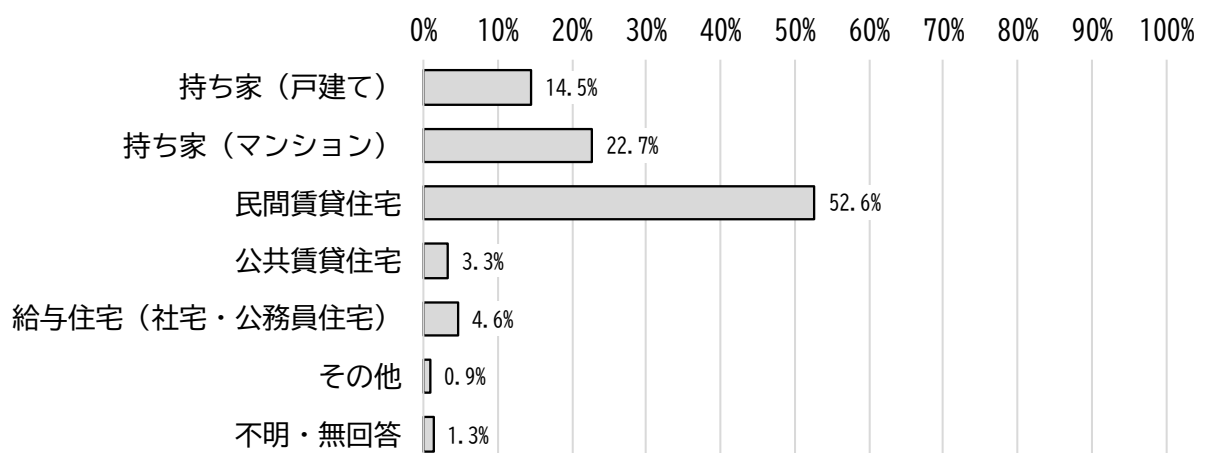
1位：白文字、2位：太文字

(3) 住まいについて

問7 現在のお住まいの形態はどれですか。

現在の住まいの形態については「民間賃貸住宅」が52.6%と最も高く、次いで「持ち家（マンション）」が22.7%、「持ち家（戸建て）」が14.5%となっています。

年代別では、“18, 19歳”では「持ち家（戸建て）」が最も高くなっていますが、それ以外の年代では「民間賃貸住宅」が最も高くなっています。



(n = 454)

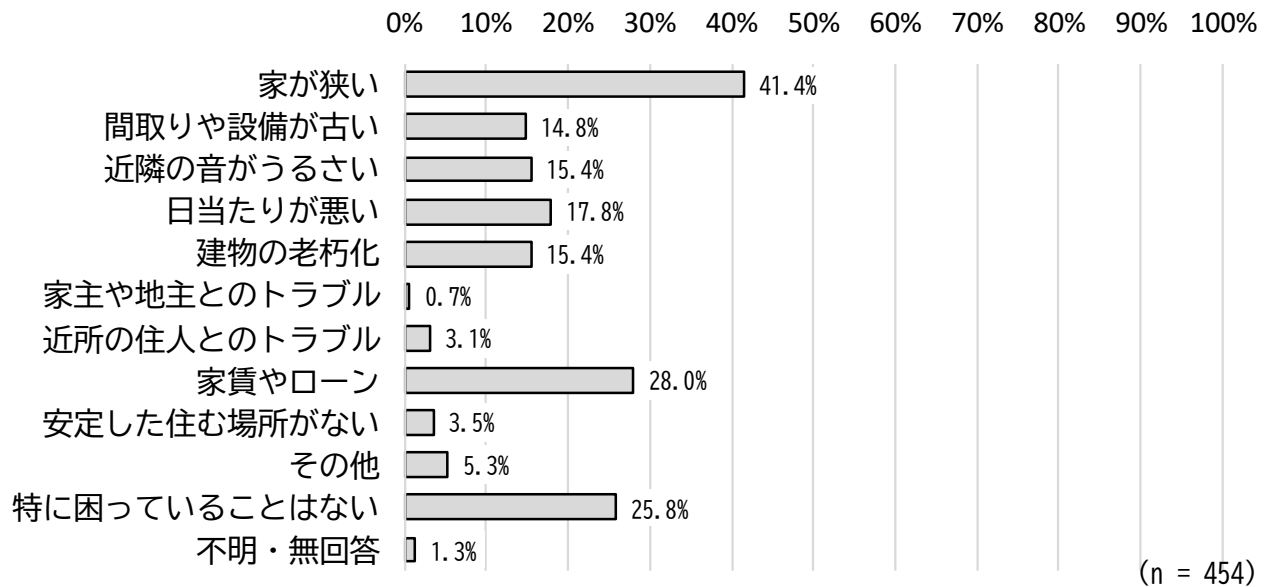
年齢別

		合計	持ち家	持ち家	民間賃貸	公共賃貸	給与住宅	その他	不明・無回答
			(戸建て)	(マンション)	住宅	住宅	(社宅・公務員住宅)		
全体	人数	454	66	103	239	15	21	4	6
	構成比	100.0	14.5	22.7	52.6	3.3	4.6	0.9	1.3
18, 19歳	人数	9	4	3	2	0	0	0	0
	構成比	100.0	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	人数	40	11	10	15	2	1	0	1
	構成比	100.0	27.5	25.0	37.5	5.0	2.5	0.0	2.5
25～29歳	人数	91	16	11	58	4	1	1	0
	構成比	100.0	17.6	12.1	63.7	4.4	1.1	1.1	0.0
30～34歳	人数	127	11	25	77	5	8	1	0
	構成比	100.0	8.7	19.7	60.6	3.9	6.3	0.8	0.0
35～39歳	人数	172	20	52	83	2	11	2	2
	構成比	100.0	11.6	30.2	48.3	1.2	6.4	1.2	1.2
不明・無回答	人数	15	4	2	4	2	0	0	3
	構成比	100.0	26.7	13.3	26.7	13.3	0.0	0.0	20.0

1位：白文字、2位：太文字

問8 現在のお住まいで困ったり悩んだり不安をもったりしていることがありますか。（複数回答）

現在の住まいの悩み事については「家が狭い」が41.4%と最も高く、次いで「家賃やローン」が28.0%、「特に困っていることはない」が25.8%となっています。



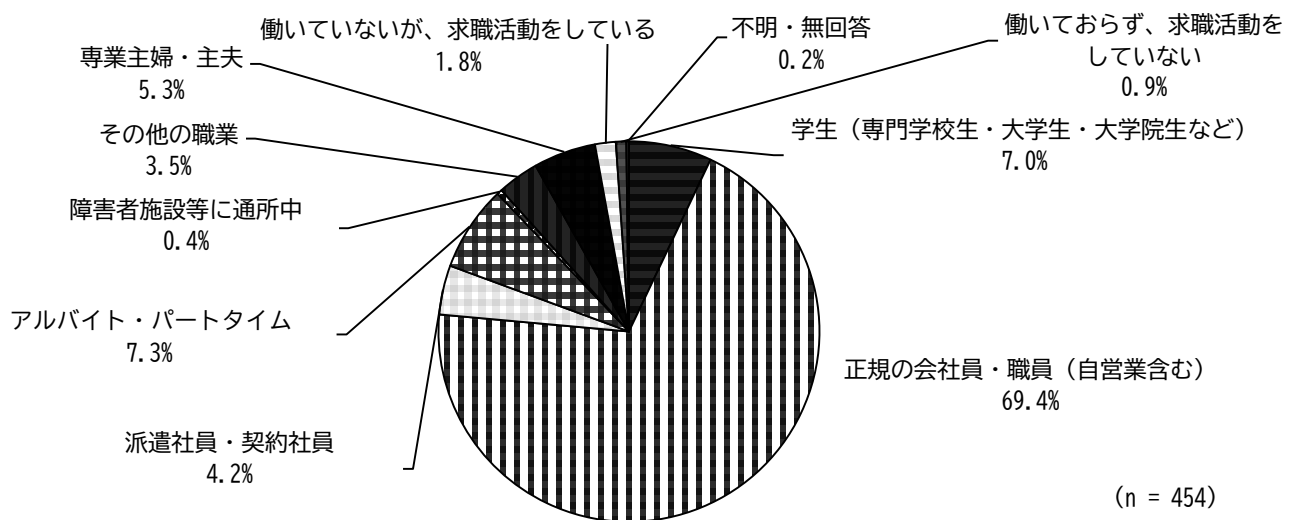
3. 職業について

(1) 職業・就職について

問9 現在の職業を教えてください。

現在の職業については、「正規の会社員・職員（自営業含む）」が69.4%と最も高く、次いで「アルバイト・パートタイム」が7.3%となっています。

年代別では、“18,19歳” “20～24歳” では「学生（専門学校生・大学生・大学院生など）」が最も高く、それ以外の年代では「正規の会社員・職員（自営業含む）」が多くなっています。



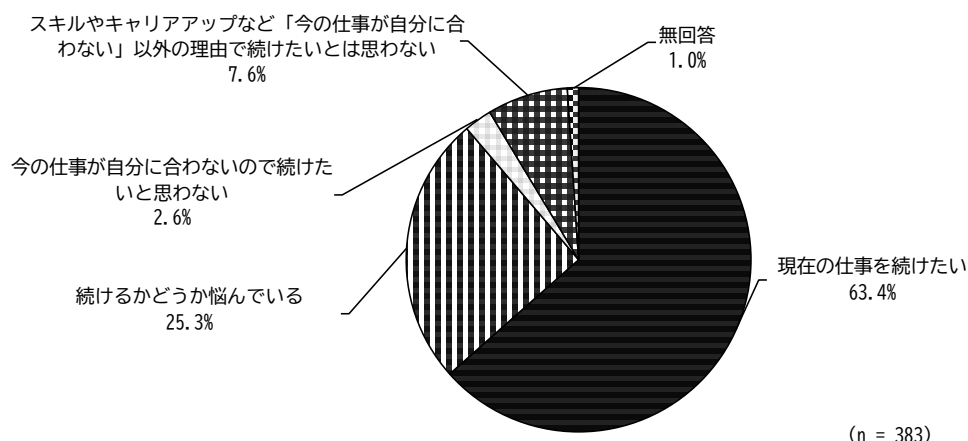
年齢別

		合計	学生（専門学校生・大学生・大学院生など）	正規の会社員・職員（自営業含む）	派遣社員・契約社員	アルバイト・パートタイム	障害者施設等に通所中	その他の職業	専業主婦・主夫	働いていないが、求職活動をしている	働いておらず、求職活動をしていない	不明・無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全体	人数	454	32	315	19	33	2	16	24	8	4	1
	構成比	100.0	7.0	69.4	4.2	7.3	0.4	3.5	5.3	1.8	0.9	0.2
18,19歳	人数	9	7	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	構成比	100.0	77.8	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	人数	40	21	14	0	3	0	2	0	0	0	0
	構成比	100.0	52.5	35.0	0.0	7.5	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	人数	91	1	70	5	8	0	2	2	2	1	0
	構成比	100.0	1.1	76.9	5.5	8.8	0.0	2.2	2.2	2.2	1.1	0.0
30～34歳	人数	127	2	95	8	5	0	4	8	3	1	1
	構成比	100.0	1.6	74.8	6.3	3.9	0.0	3.1	6.3	2.4	0.8	0.8
35～39歳	人数	172	1	125	6	15	1	8	12	3	0	0
	構成比	100.0	0.6	72.7	3.5	8.7	0.6	4.7	7.0	1.7	0.6	0.0
不明・無回答	人数	15	0	11	0	1	0	0	2	0	1	0
	構成比	100.0	0.0	73.3	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0

1位：白文字、2位：太文字

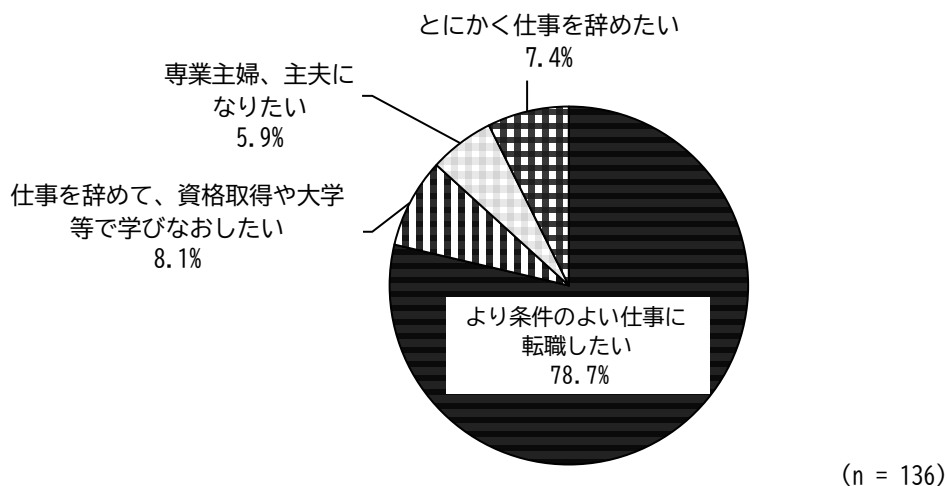
問9-1 問9で「正規の会社員・職員（自営業含む）」、「派遣社員、契約社員」、「アルバイト・パートタイム」、「その他の職業」を選択した方にうかがいます。現在の仕事を続けたいと思いますか。

現在の仕事を続けたいかについては、「現在の仕事を続けたい」が63.4%と最も高く、次いで「続けるかどうか悩んでいる」が25.3%となっています。



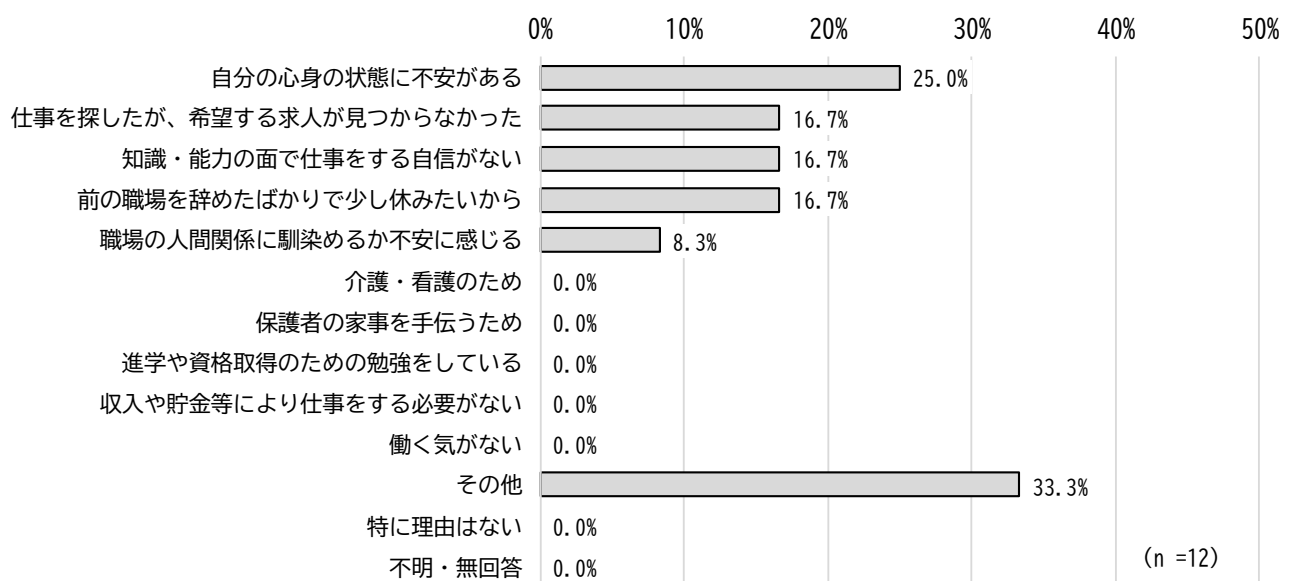
問9-2 問9-1で、「続けるかどうか悩んでいる」、「今の仕事が自分に合わないで続けたいと思わない」、「スキルやキャリアアップなど、今の仕事が合わない以外の理由で続けたいとは思わない」を選択した方にうかがいます。今後、具体的にどのようにしたいと思っていますか。

具体的に今後どのようにしたいかについては、「より条件のよい仕事に転職したい」が78.7%と最も高く、次いで「仕事を辞めて資格取得や大学等で学びなおしたい」が8.1%となっています。

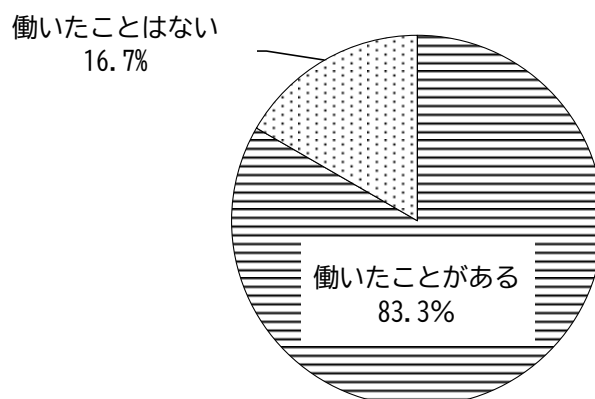


問9-3 問9で「働いていないが、求職活動をしている」、「働いておらず、求職活動をしていない」と回答した方にうかがいます。
現在、求職活動をしていない理由、または働いていない理由は何ですか。
(複数回答)

求職活動をしていない理由、これまで働いたことのない理由については、「その他」を除くと、「自分の心身の状態に不安がある」が25.0%と最も高く、次いで「仕事を探したが、希望する求人が見つからなかった」、「知識・能力の面で仕事をする自信がない」、「前の職場を辞めたばかりで少し休みたいから」がそれぞれ16.7%となっています。



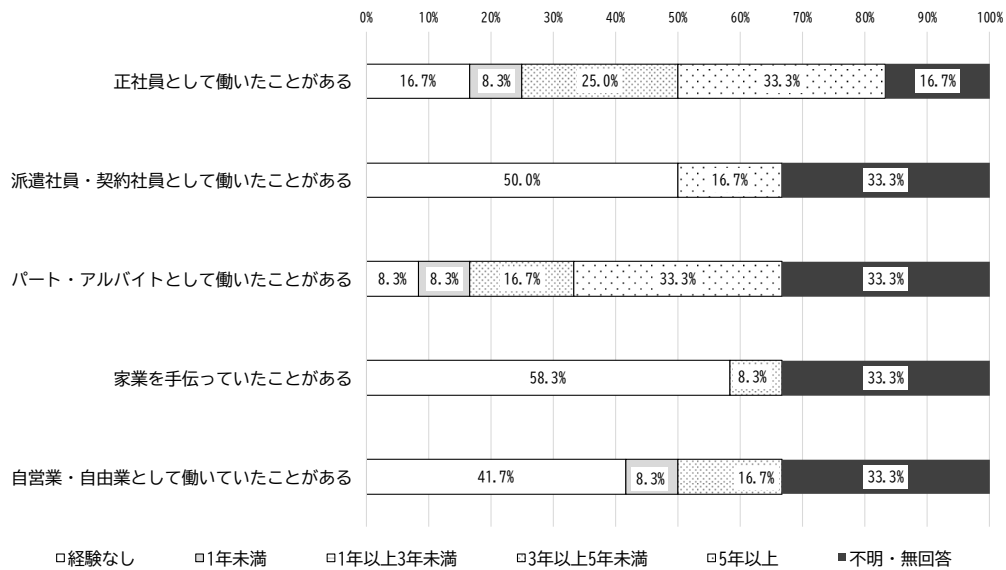
問9-4 問9で「働いていないが、求職活動をしている」、「働いておらず、求職活動をしていない」と回答した方にうかがいます。
あなたはこれまでに働いたことはありますか。



(n = 12)

問9-5 問9で「働いていないが、求職活動をしている」、「働いておらず、求職活動をしていない」と回答した方にうかがいます。それぞれ働いた経験の有無と、期間について該当する年数をお答えください。

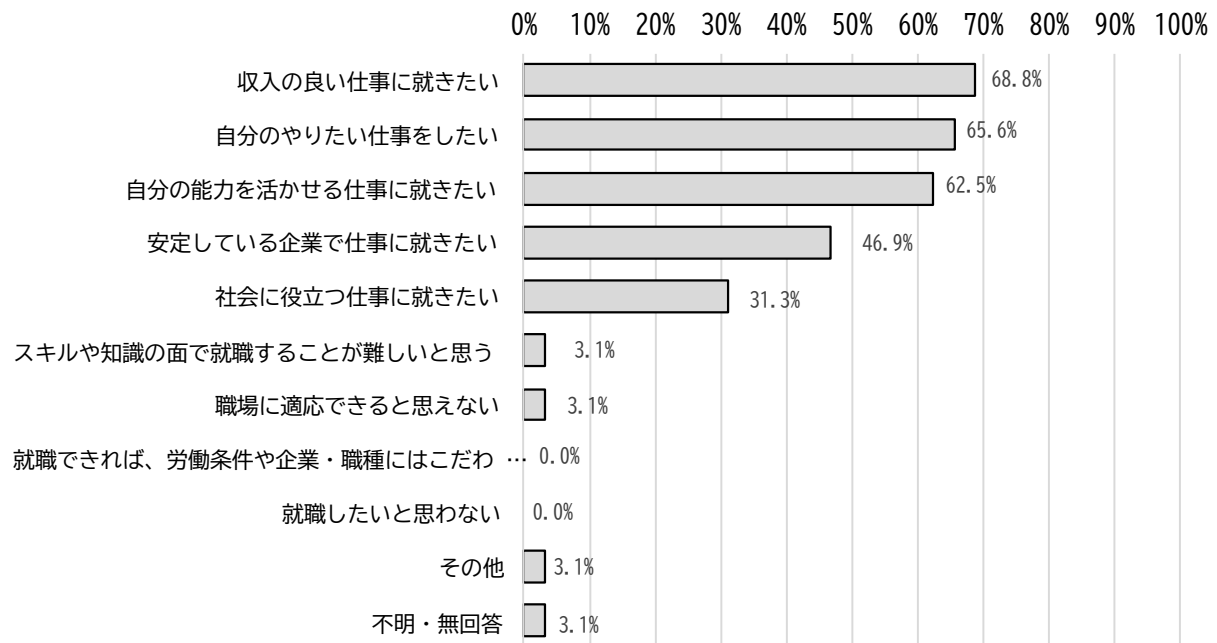
“経験なし”を除くと「正社員として働いたことがある」、「派遣社員・契約社員として働いたことがある」及び「パート・アルバイトとして働いたことがある」期間は“5年以上”が最も多く、「家業を手伝っていたことがある」及び「自営業・自由業として働いていたことがある」は“3年以上5年未満”が多くなっています。



(n = 12)

問9-6 問9で「学生（専門学校生、大学生、大学院生など）」と回答した方にかが
います。将来の就職について、どのように考えていますか。（複数回答）

将来の就職については、「収入の良い仕事に就きたい」が68.8%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事をしたい」が65.6%となっています。



(n = 32)

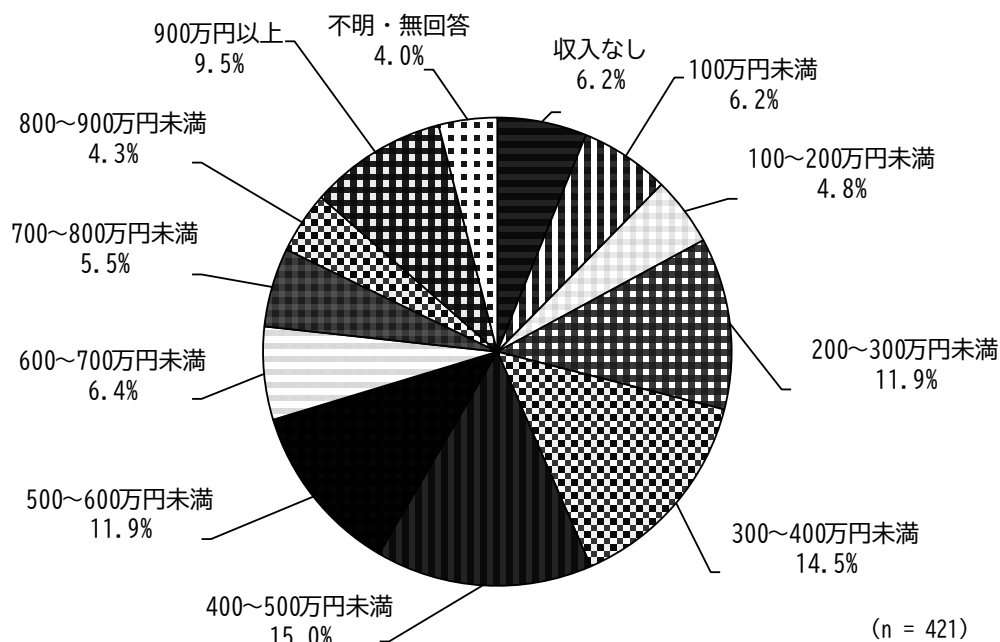
問9-7 問9で「学生（専門学校生、大学生、大学院生など）」と回答した以外のすべての方にうかがいます。

昨年1年間の収入（税込）はおよそいくらですか。

※仕事による収入のほか、不動産収入や利子・配当金、年金、仕送り、養育費など仕事以外の収入も合わせた金額でご回答ください。

昨年1年間の収入（税込）については、「400～500万円未満」が15.0%と最も高く、次いで「300～400万円未満」が14.5%となっています。

“18, 19歳”では「収入なし」が最も高く、“20～24歳”では「200～300万円未満」、「25～29歳”では「300～400万円未満」、「30～34歳”では「400～500万円未満」、「35～39歳”では「900万円以上」が多くなっています。



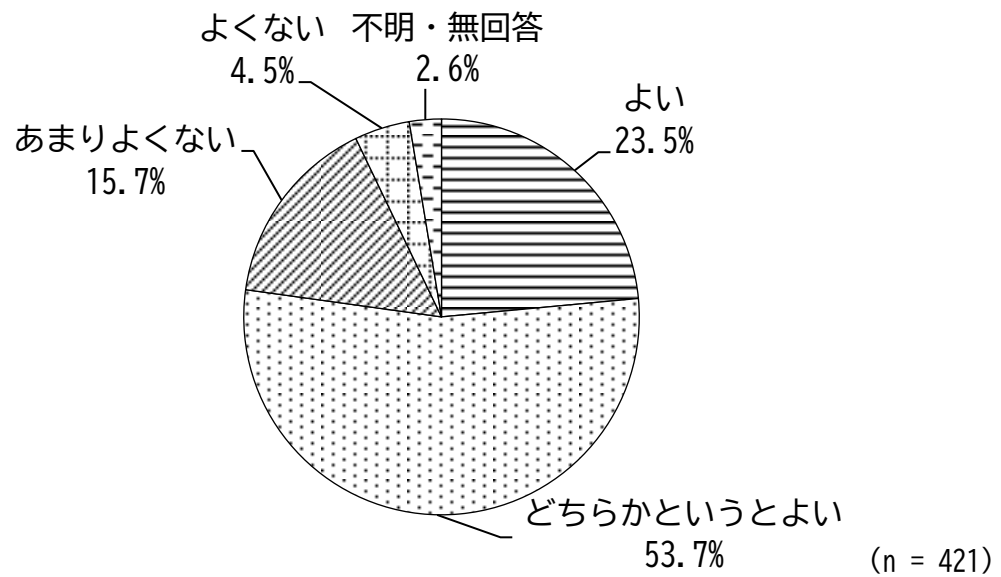
年齢別

		合計	収入なし	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900万円以上	不明・無回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	人数	421	26	26	20	50	61	63	50	27	23	18	40	17
	構成比	100.0	6.2	6.2	4.8	11.9	14.5	15.0	11.9	6.4	5.5	4.3	9.5	4.0
18, 19歳	人数	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	人数	19	0	2	2	6	3	1	2	1	0	0	0	2
	構成比	100.0	0.0	10.5	10.5	31.6	15.8	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5
25～29歳	人数	90	2	2	4	13	21	20	10	4	5	1	2	6
	構成比	100.0	2.2	2.2	4.4	14.4	23.3	22.2	11.1	4.4	5.6	1.1	2.2	6.7
30～34歳	人数	124	7	4	6	15	15	21	16	13	7	1	13	6
	構成比	100.0	5.6	3.2	4.8	12.1	12.1	16.9	12.9	10.5	5.6	0.8	10.5	4.8
35～39歳	人数	171	12	17	5	15	21	19	20	9	11	15	24	3
	構成比	100.0	7.0	9.9	2.9	8.8	12.3	11.1	11.7	5.3	6.4	8.8	14.0	1.8
不明・無回答	人数	15	3	1	3	1	1	2	2	0	0	1	1	0
	構成比	100.0	20.0	6.7	20.0	6.7	6.7	13.3	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0

1位：白文字、2位：太文字

問9-8 問9で「学生（専門学校生、大学生、大学院生など）」と回答した以外のすべての方にうかがいます。
自分の暮らし向きをどのように感じていますか。

自分の暮らし向きについては、「どちらかというといよい」が53.7%と最も高く、次いで「よい」が23.5%となっています。



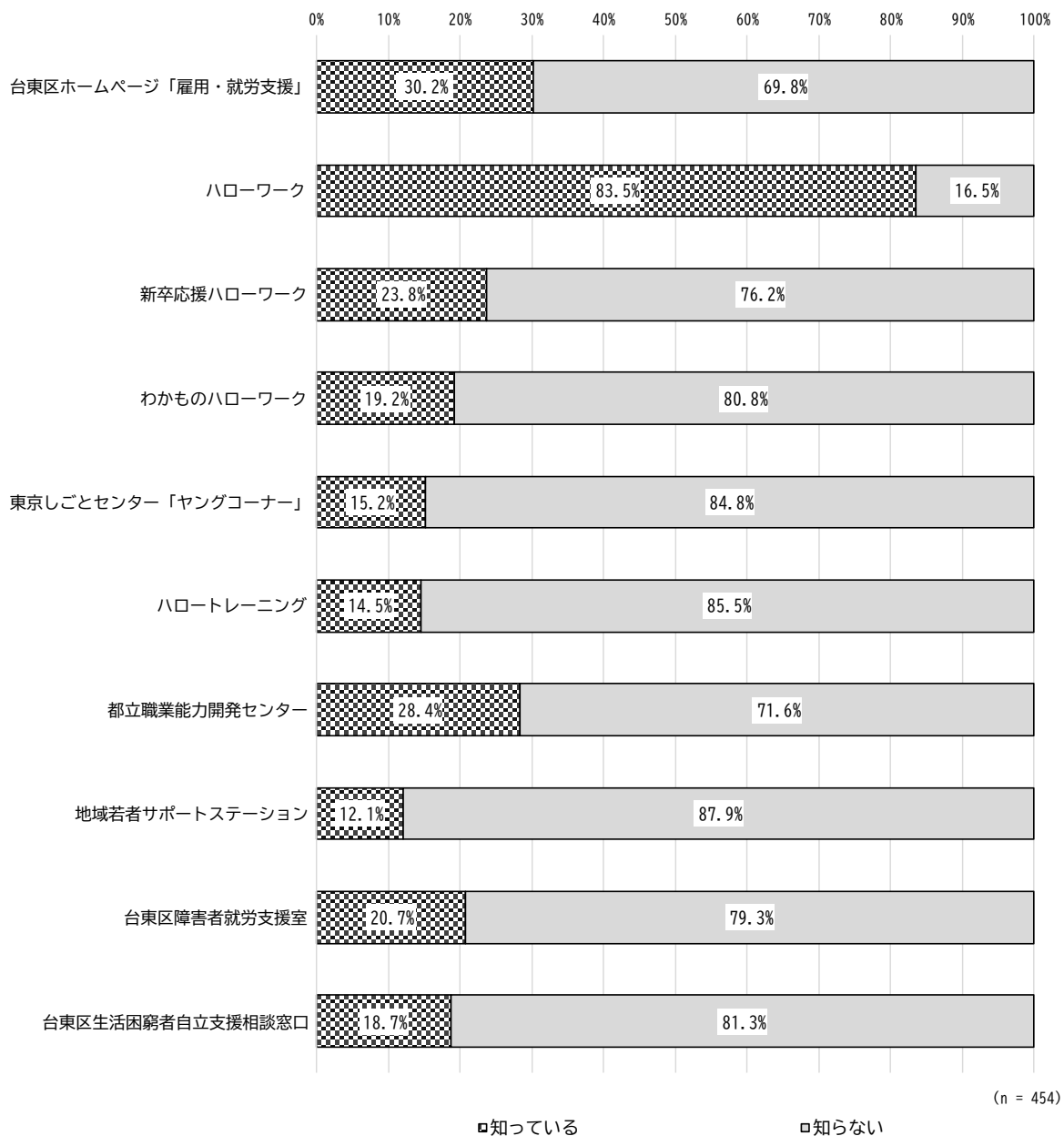
4. 若者に対する取組みや支援について

（1）就労支援について

問10 若者世代の就労を支援する組織や取組み、利用状況について、それぞれの組織について①知っているものをすべて選び、②選んだ組織の取組みを知っているものを選び、③取組みを知っている組織について、利用経験があるものを選んでください。

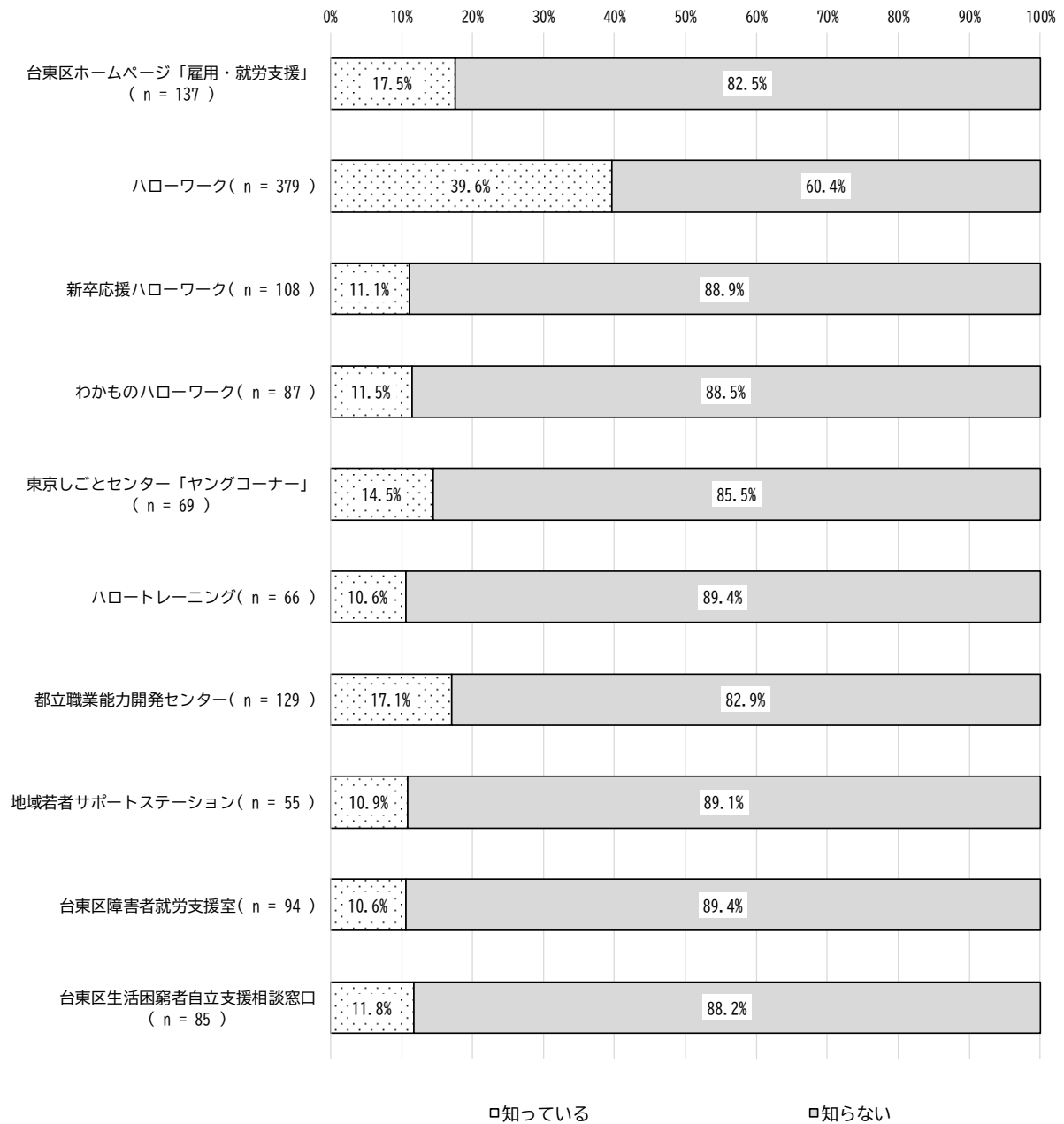
① 組織についての認知度

就労支援をする組織の存在を知っているかについては、「ハローワーク」の存在を知っているが83.5%と最も高く、次いで「台東区ホームページ「雇用・就労支援」」の存在を知っているが30.2%となっています。



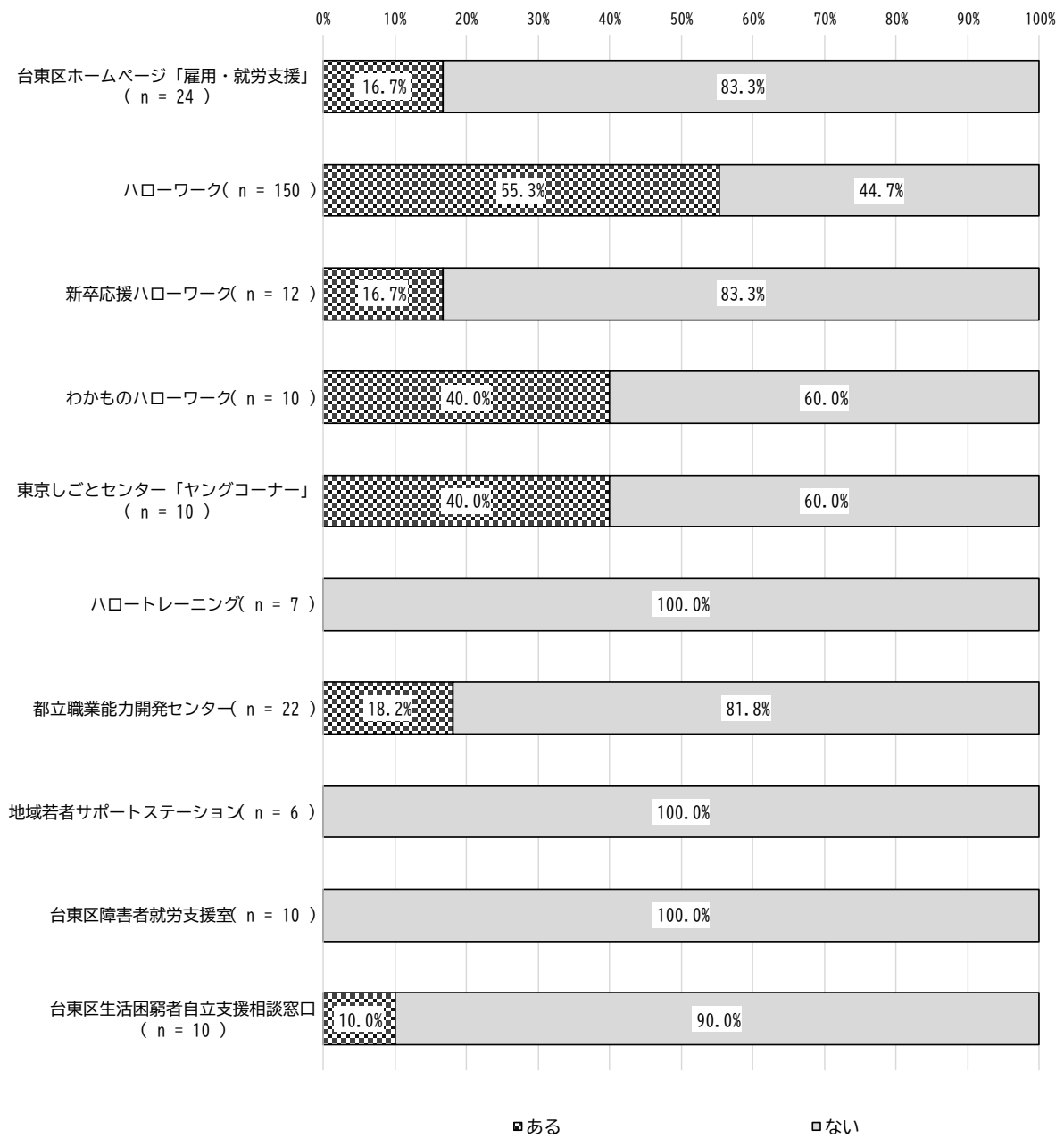
② 組織の取組みについて

組織の取組みについて知っているかは「ハローワーク」が39.6%で最も高く、次いで「台東区ホームページ「雇用・就労支援」が17.5%となっています。



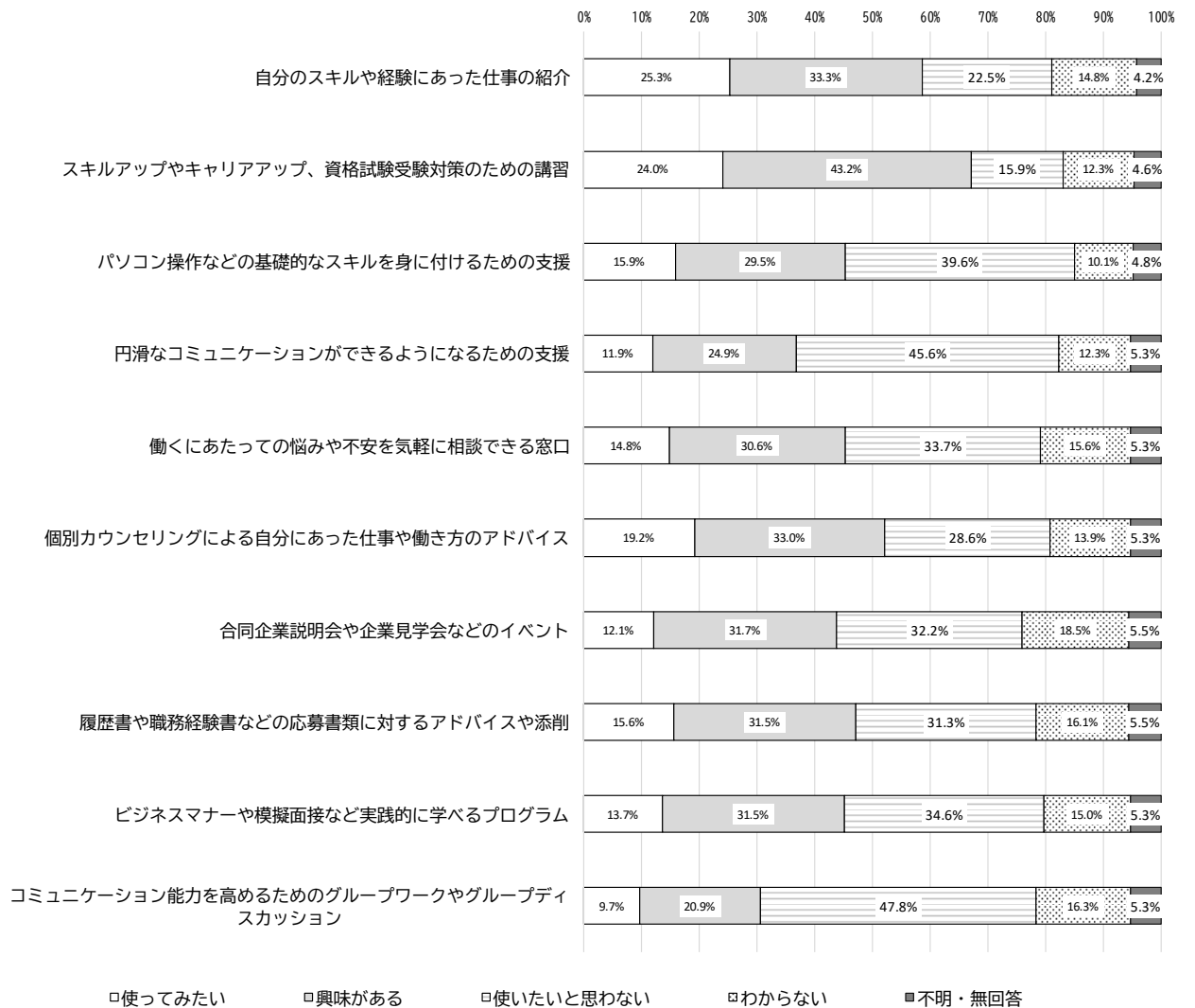
③ 利用経験がある

利用経験については「ハローワーク」が55.3%と最も高く、「東京しごとセンター「ヤングコーナー」」が40.0%となっています。



問11 求職活動や転職活動を行う際、次の公的サービス（行政やハローワーク等のサービス）を利用したいと思いますか。

公的サービスを利用したいかについては、「自分のスキルや経験にあった仕事の紹介」を使ってみたいが25.3%と最も高く、次いで「スキルアップやキャリアアップ、資格試験受験対策のための講習」を使ってみたいが24.0%となっています。



(n = 454)

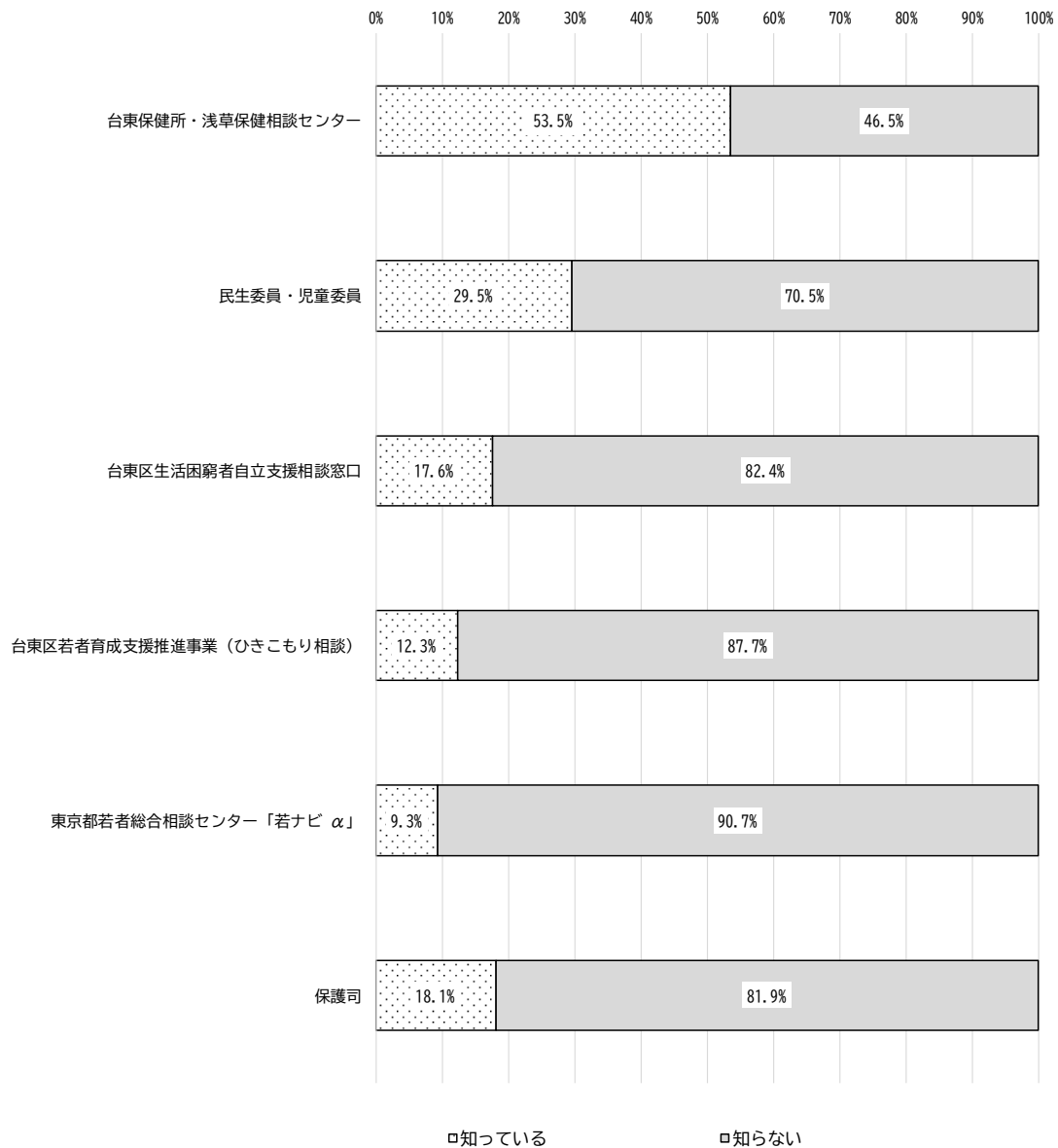
5. 若者の悩み相談について

（1）暮らしに関する相談先について

問12 暮らしに関する悩みや不安を相談できる組織や人を知っていますか。①知っているものをお答えください。（複数選択）
また、①で選んだ組織や個人について ②利用経験があるものを選んでください。

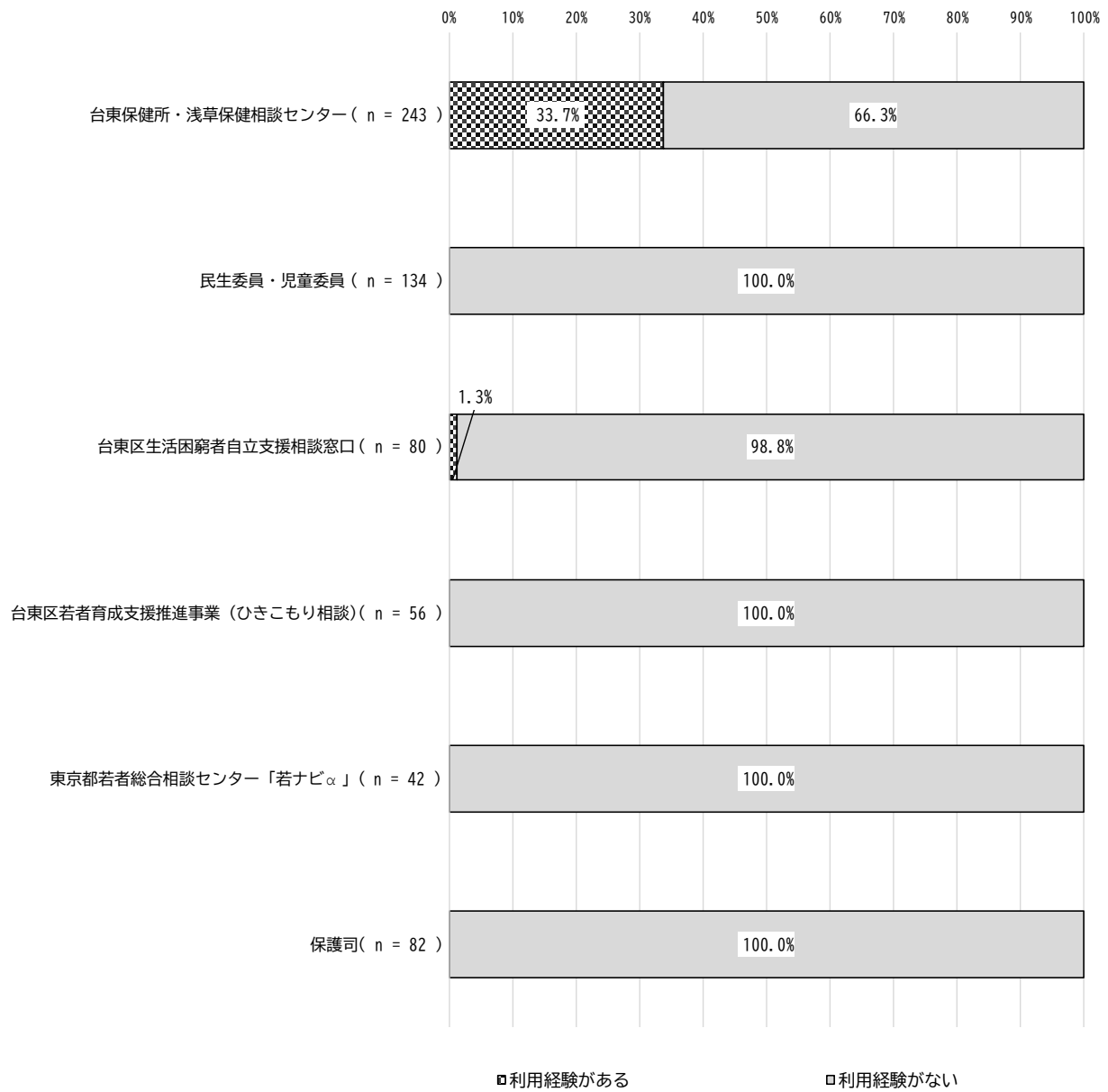
① 組織についての認知度

悩みや不安を相談できる組織等を知っているかは、「台東保健所・浅草保健相談センター」が53.5%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が29.5%となっています。



② 利用経験があるか

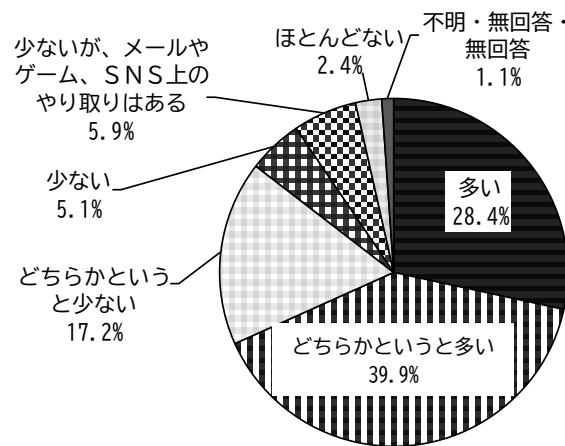
利用経験があるかは「台東保健所・浅草保健相談センター」が33.7%で最も高く、次いで「台東区生活困窮者自立支援相談窓口」が1.3%となっています。



(2) 人づきあいについて

問13 普段のコミュニケーション（家族を含め、直接の会話や電話でのやりとり）についていちばん近いものはどれですか。※仕事上でのやり取りは含めません。

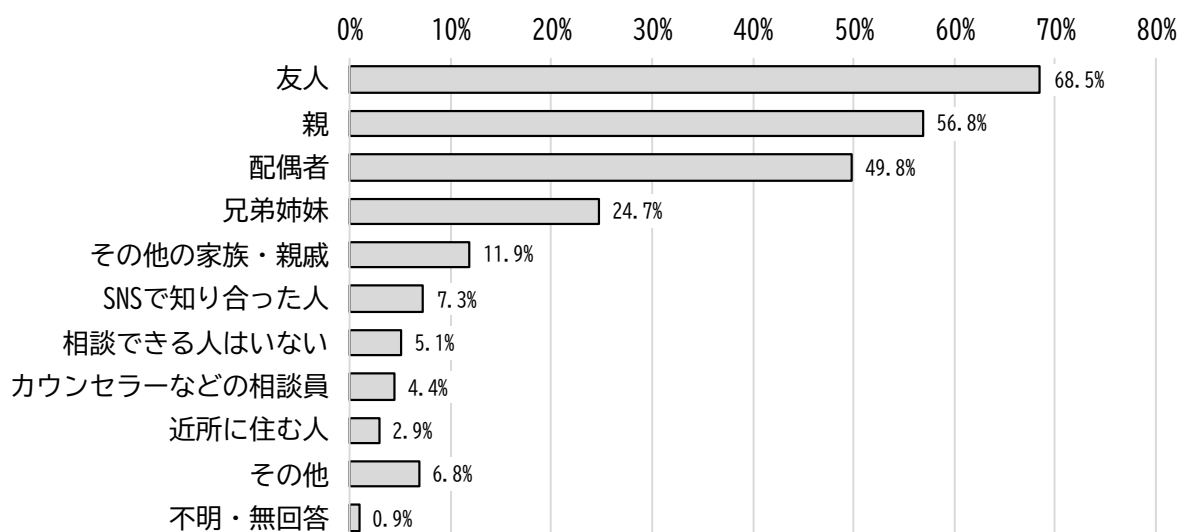
普段のコミュニケーションについては、「どちらかという也多い」が39.9%と最も高く、次いで「多い」が28.4%となっています。



(n = 454)

問14 日常生活や仕事などの悩みや不安がある場合、それを相談できる人はいますか。相談できる人をお答えください。（複数回答）

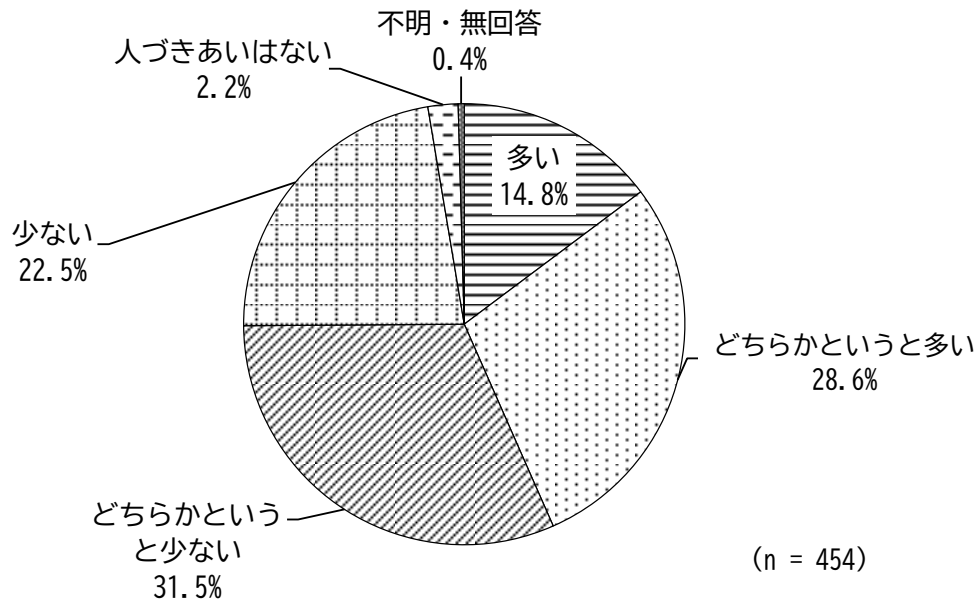
相談できる人については、「友人」が68.5%と最も高く、次いで「親」が56.8%となっています。



(n = 454)

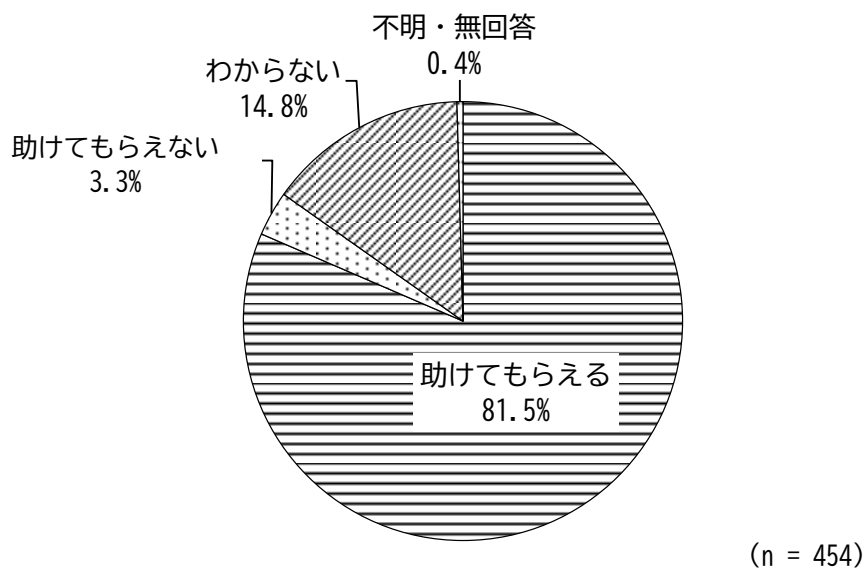
問15 人づきあいが多い方だと思いますか。

人づきあいの多さについては、「どちらかというとき少ない」が31.5%と最も高く、次いで「どちらかというとき多い」が28.6%となっています。



問16 何か困ったことがあった場合自分の親や兄弟姉妹に助けてもらえると思いますか。

困ったときに自分の親・兄弟姉妹に助けてもらえるかについては、「助けてもらえる」が81.5%と最も高く、次いで「わからない」が14.8%となっています。



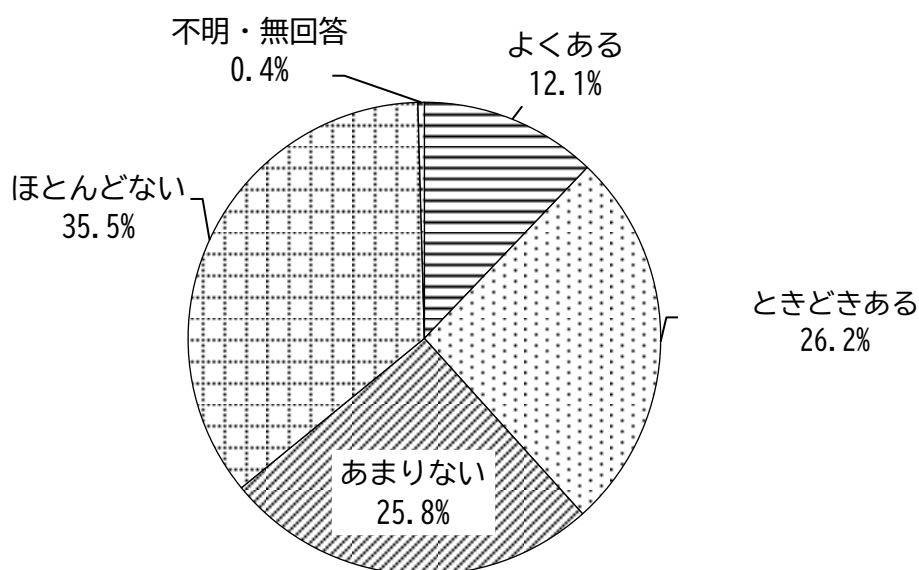
6. ひきこもり、ニートについて

(1) 外出頻度について

問17 何日も家や自宅に閉じこもって、外に出たくないと思うことはありますか。

外に出たくないと思うことについては、「ほとんどない」が35.5%と最も高く、次いで「ときどきある」が26.2%となっています。

多くの年代で「ほとんどない」が最も高くなっていますが、“20～24歳”では「ときどきある」が最も高く、“18, 19歳”では「よくある」の回答も高くなっています。



(n = 454)

年齢別

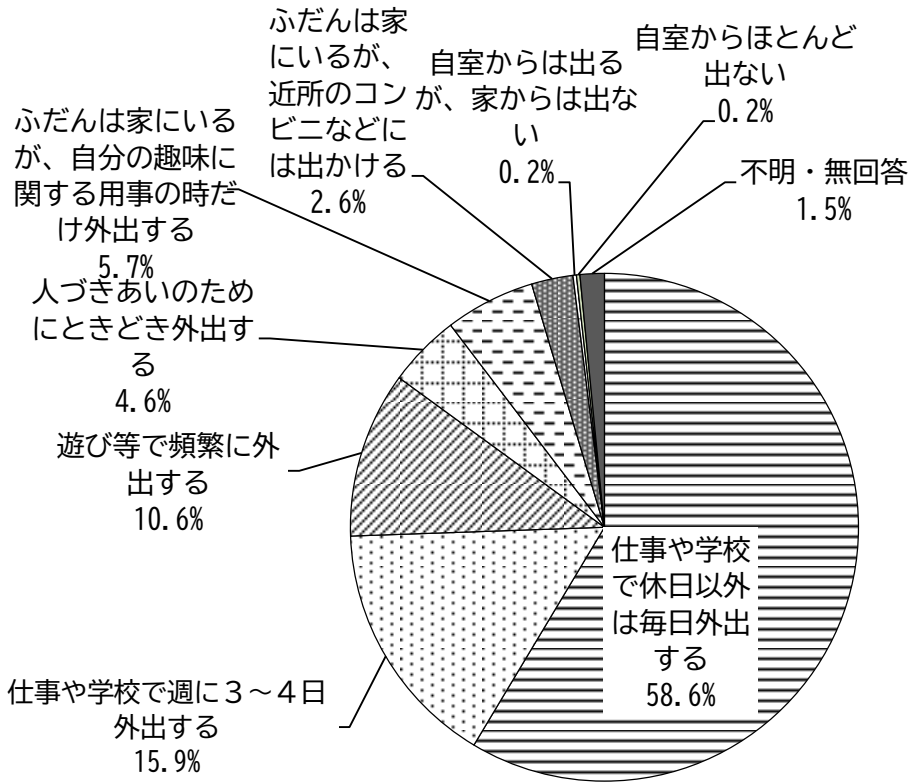
		合計	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	不明・無回答
全体	人数	454	55	119	117	161	2
	構成比	100.0	12.1	26.2	25.8	35.5	0.4
18, 19歳	人数	9	3	1	2	3	0
	構成比	100.0	33.3	11.1	22.2	33.3	0.0
20～24歳	人数	40	6	15	7	12	0
	構成比	100.0	15.0	37.5	17.5	30.0	0.0
25～29歳	人数	91	17	22	26	26	0
	構成比	100.0	18.7	24.2	28.6	28.6	0.0
30～34歳	人数	127	15	31	33	48	0
	構成比	100.0	11.8	24.4	26.0	37.8	0.0
35～39歳	人数	172	14	48	44	65	1
	構成比	100.0	8.1	27.9	25.6	37.8	0.6
不明・無回答	人数	15	0	2	5	7	1
	構成比	100.0	0.0	13.3	33.3	46.7	6.7

1位：白文字、2位：太文字

問18 普段どのくらい外出しますか。

外出の頻度については、「仕事や学校で休日以外は毎日外出する」が58.6%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が15.9%となっています。

年齢別でも、いずれも「仕事や学校で休日以外は毎日外出する」が過半数で高くなっています。



(n = 454)

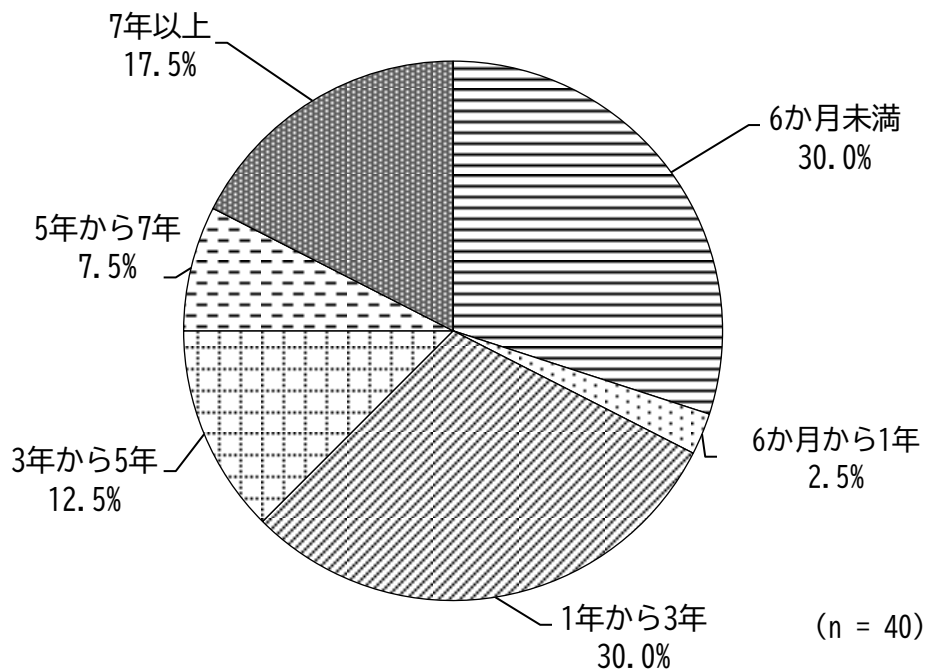
年齢別

		合計	仕事や学校で休日以外毎日外出する	仕事や学校で週に3～4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	自室からは出ない	自室からほとんど出ない	不明・無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
全体	人数	454	266	72	48	21	26	12	1	1	7
	構成比	100.0	58.6	15.9	10.6	4.6	5.7	2.6	0.2	0.2	1.5
18, 19歳	人数	9	7	1	0	0	1	0	0	0	0
	構成比	100.0	77.8	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	人数	40	29	5	2	3	0	1	0	0	0
	構成比	100.0	72.5	12.5	5.0	7.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0
25～29歳	人数	91	48	13	13	5	9	3	0	0	0
	構成比	100.0	52.7	14.3	14.3	5.5	9.9	3.3	0.0	0.0	0.0
30～34歳	人数	127	77	17	16	3	8	3	0	1	2
	構成比	100.0	60.6	13.4	12.6	2.4	6.3	2.4	0.0	0.8	1.6
35～39歳	人数	172	95	36	14	9	8	5	1	0	4
	構成比	100.0	55.2	20.9	8.1	5.2	4.7	2.9	0.6	0.0	2.3
不明・無回答	人数	15	10	0	3	1	0	0	0	0	1
	構成比	100.0	66.7	0.0	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7

1位：白文字、2位：太文字

問18-1 問18で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した方にうかがいます。
 あなたが、あまり外出しなくなってから、またはほとんど外出しなくなってから、どのくらい経ちますか。

外出をしなくなった年月については、「6か月未満」と「1年から3年」がいずれも30.0%と最も高く、次いで「7年以上」が17.5%となっています。



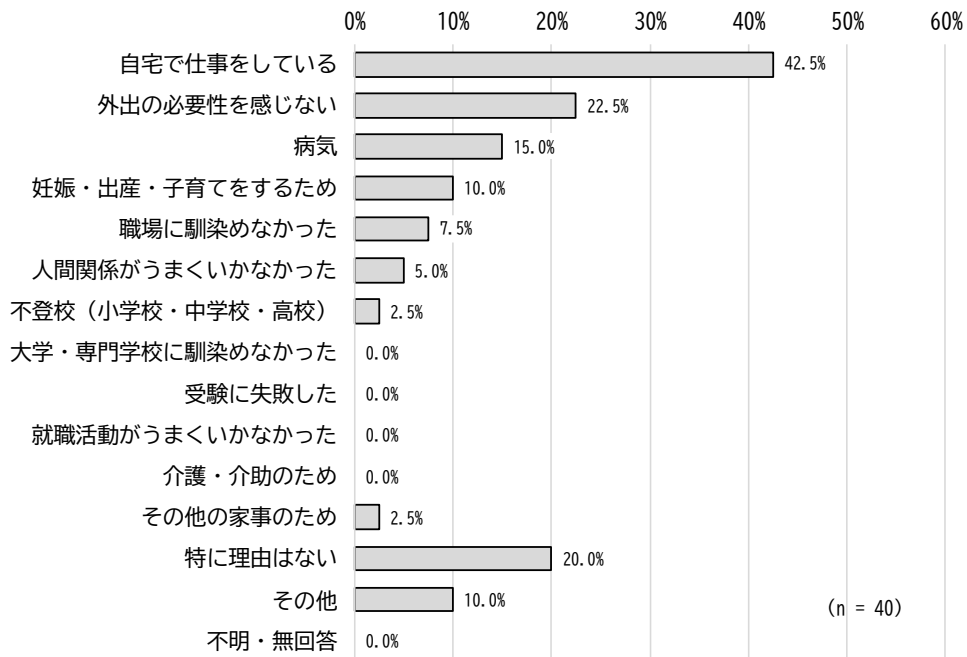
年齢別

		合計	6か月未満	6か月から1年	1年から3年	3年から5年	5年から7年	7年以上	不明・無回答
全体	人数	40	12	1	12	5	3	7	0
	構成比	100.0	30.0	2.5	30.0	12.5	7.5	17.5	0.0
18,19歳	人数	1	0	0	1	0	0	0	0
	構成比	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	人数	1	1	0	0	0	0	0	0
	構成比	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	人数	12	4	1	2	0	1	4	0
	構成比	100.0	33.3	8.3	16.7	0.0	8.3	33.3	0.0
30～34歳	人数	12	4	0	1	4	1	2	0
	構成比	100.0	33.3	0.0	8.3	33.3	8.3	16.7	0.0
35～39歳	人数	14	3	0	8	1	1	1	0
	構成比	100.0	21.4	0.0	57.1	7.1	7.1	7.1	0.0
不明・無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

1位：白文字、2位：太文字

問18-2 あまり外出しなくなった、またはほとんど外出しなくなったきっかけや理由は何ですか。（複数回答）

外出をしなくなったきっかけや理由については、「自宅で仕事をしている」が42.5%と最も高く、次いで「外出の必要性を感じない」22.5%、「病気」が15.0%となっています。



年齢別

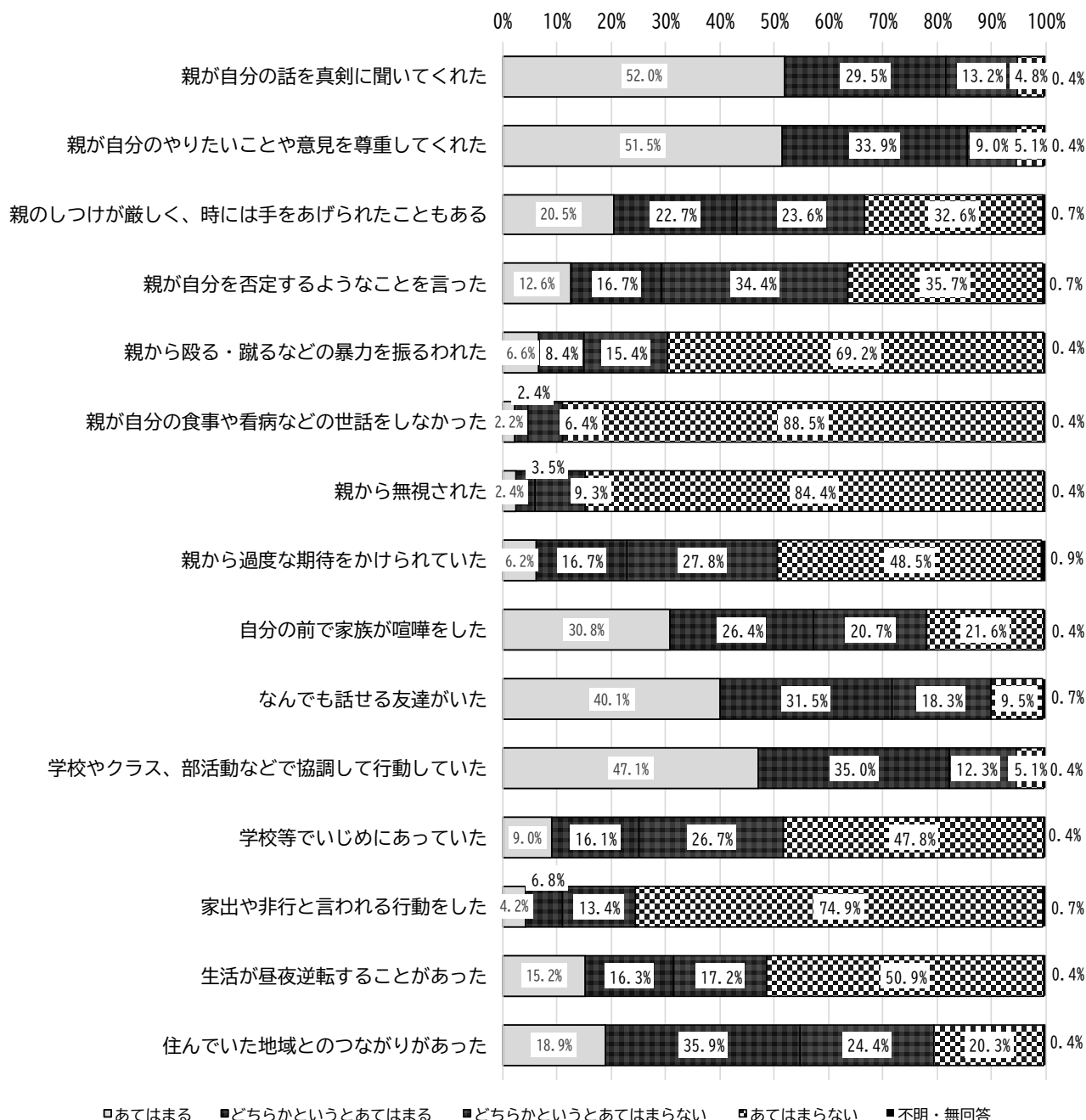
	合計	不登校 (小学 校・中学 校・高校)	大学・専 門学校に 馴染めな かった	受験に失 敗した	就職活動 がうまく いかなか った	職場に馴 れなかつ た	人間関係 がうまく いかなか った	病気	外出の必 要性を感 じない	妊娠・出 産・子育 てをする ため	自宅で仕 事をして いる	介護・介 助のため	その他の 家事のため	特に理由 はない	その他	不明・無 回答
全体	人数 40 構成比 100.0	1 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.5	2 5.0	6 15.0	9 22.5	4 10.0	17 42.5	0 0.0	1 2.5	8 20.0	4 10.0	0 0.0
18, 19歳	人数 1 構成比 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
20～24歳	人数 1 構成比 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
25～29歳	人数 12 構成比 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0	4 33.3	2 16.7	0 0.0
30～34歳	人数 12 構成比 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0
35～39歳	人数 14 構成比 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0	3 21.4	3 21.4	0 0.0	8 57.1	0 0.0	1 7.1	2 14.3	2 14.3	0 0.0
不明・無回答	人数 0 構成比 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

1位：白文字、2位：太文字

(2) 子供のころの経験について

問19 子供のころについて、次の項目であてはまるものはありますか。

子供のころの経験については、「親が自分の話を真剣に聞いてくれた」が52.0%と最も高く、次いで「親が自分のやりたいことや意見を尊重してくれた」が51.5%となっています。

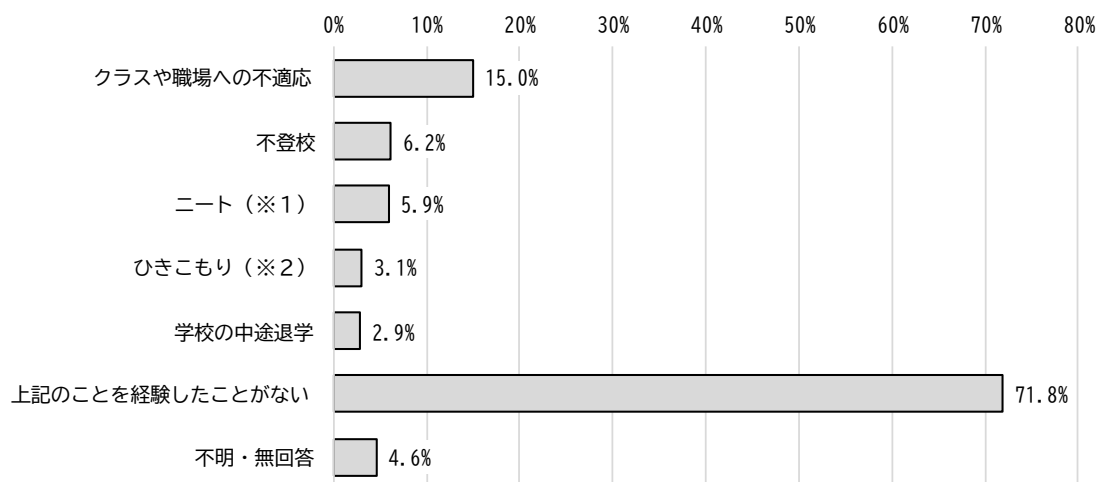


(n = 454)

問20 これまでに、次のようなことを経験したことはありますか。
実際に経験したことがあるものをお答えください。（複数回答）

ニートやひきこもり等を経験したことがあるかについては、「経験したことがない」が71.8%と最も高く、次いで「クラスや職場への不適應」が15.0%、「不登校」が6.2%となっています。

経験したことの内容では、回答者数の少ない“18, 19歳”を除くと、「クラスや職場への不適應」が最も高くなっています。



(n = 454)

※1 「ニート」の定義

総務省が行っている労働力調査における、15～34歳で、非労働力人口のうち家事も通学もしていない方（厚生労働省）

※2 「ひきこもり」の定義

様々な要因の結果、社会的参加を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって、家庭にとどまり続けている状態（他者と関わらない形での外出をしてもよい）（厚生労働省）

年齢別

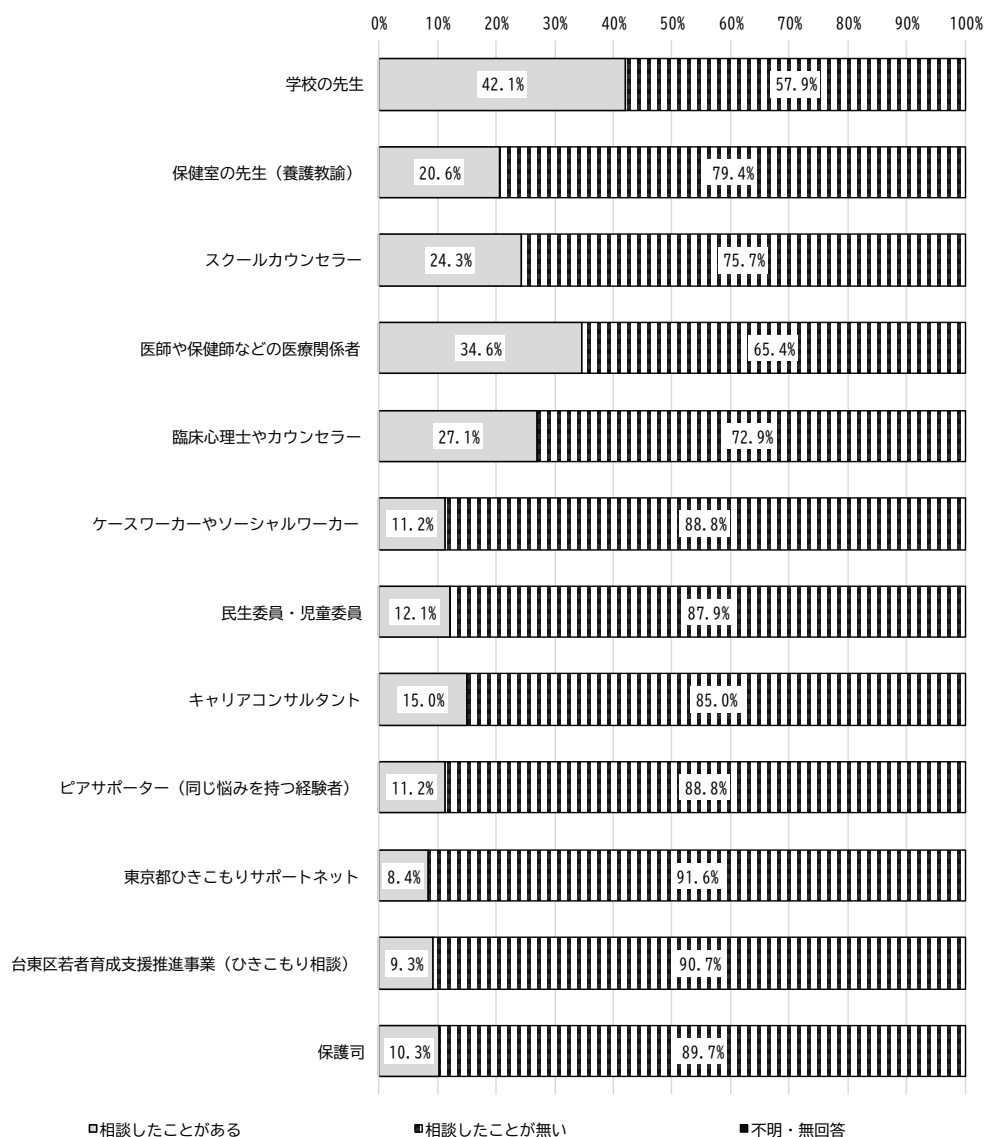
		合計	ニート (※1)	ひきこもり (※2) ☒	クラスや職場への不適應	不登校 ☒	学校の中途退学	上記のことを経験したことがない	不明・無回答
全体	人数	454	27	14	68	28	13	326	21
	構成比	100.0	5.9	3.1	15.0	6.2	2.9	71.8	4.6
18, 19歳	人数	9	0	0	0	0	0	8	1
	構成比	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1
20～24歳	人数	40	2	0	5	3	1	27	4
	構成比	100.0	5.0	0.0	12.5	7.5	2.5	67.5	10.0
25～29歳	人数	91	6	3	17	4	0	66	3
	構成比	100.0	6.6	3.3	18.7	4.4	0.0	72.5	3.3
30～34歳	人数	127	8	4	21	8	4	95	3
	構成比	100.0	6.3	3.1	16.5	6.3	3.1	74.8	2.4
35～39歳	人数	172	10	7	23	13	7	122	7
	構成比	100.0	5.8	4.1	13.4	7.6	4.1	70.9	4.1
不明・無回答	人数	15	1	0	2	0	1	8	3
	構成比	100.0	6.7	0.0	13.3	0.0	6.7	53.3	20.0

1位：白文字、2位：太文字

問20-1 「ニート」、「ひきこもり」、「クラスや職場への不適應」、「不登校」、「学校の中途退学」となった時に家族や友人・知人以外の誰かに相談したことはありますか。
 次の相談先について、①相談したことがあるものをすべて選び、②相談したことがある場合の効果について回答してください。

①相談の有無について

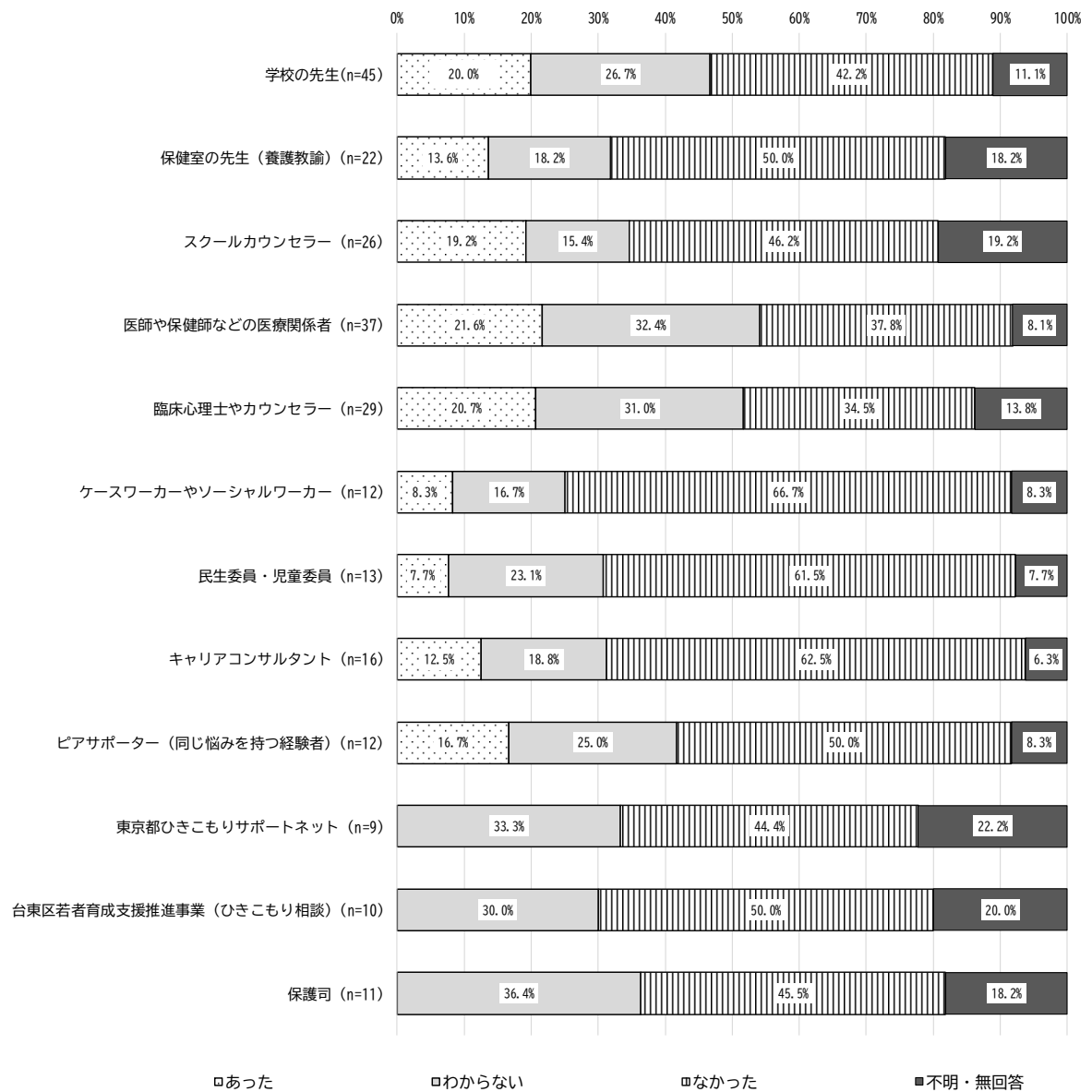
家族や友人・知人以外の相談先への相談有無については、「学校の先生」が42.1%と最も高く、次いで「医師や保健師などの医療関係者」が34.6%、「臨床心理士やカウンセラー」が共に27.1%となっています。



(n = 107)

②効果の有無について

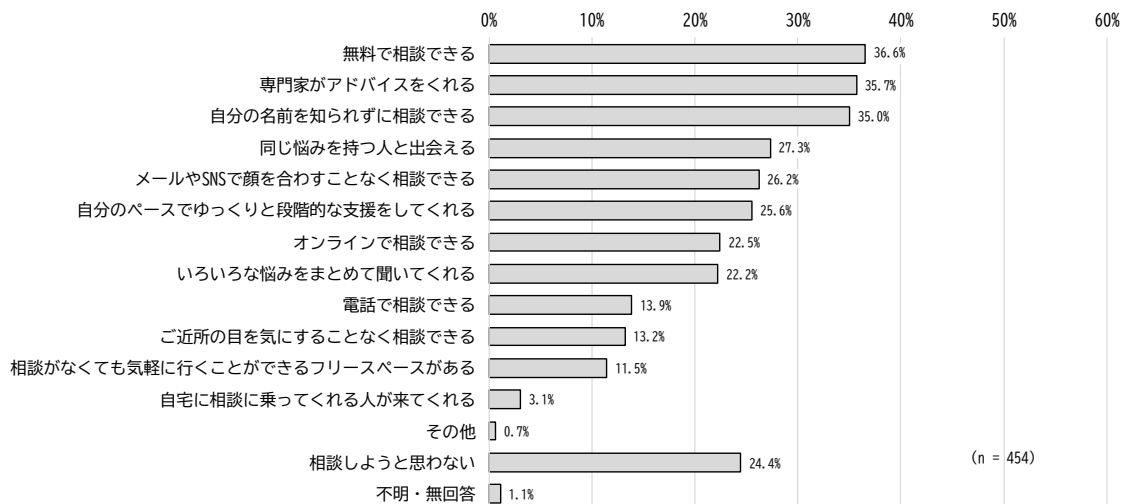
“効果があった”相談先は、「医師や保健師などの医療関係者」が21.6%と最も高く、次いで「臨床心理士やカウンセラー」が20.7%、「学校の先生」が20.0%の順となっています。



（3）現在の悩みや不安の相談先について

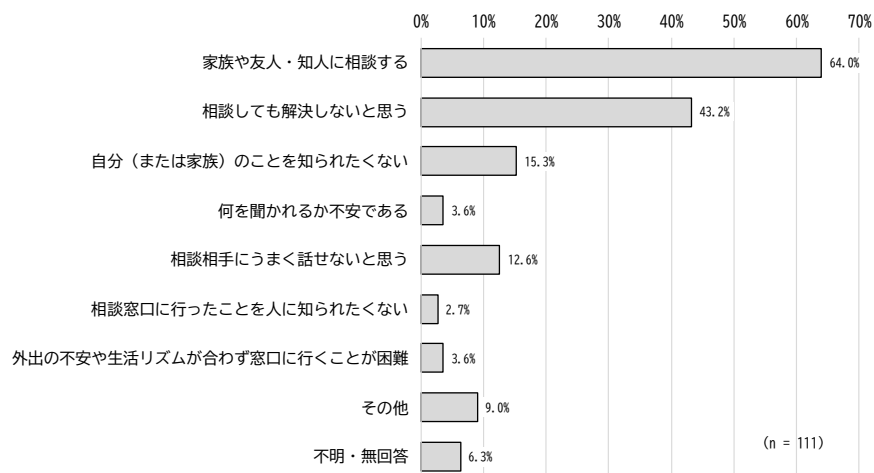
問21 家族や友人、知人以外で、どのようなところであれば、現在の悩みや不安、生きづらさなどについて相談しようと思いますか。（複数回答）

現在の悩みや不安を相談しようと思える相談先については、「無料で相談できる」が36.6%と最も高く、次いで「専門家がアドバイスをくれる」が35.7%となっています。



問21-1 問21で「相談しようと思わない」を選択した方にうかがいます。
あなたが、悩みや不安を相談しようと思わない理由は何ですか。
（複数回答）

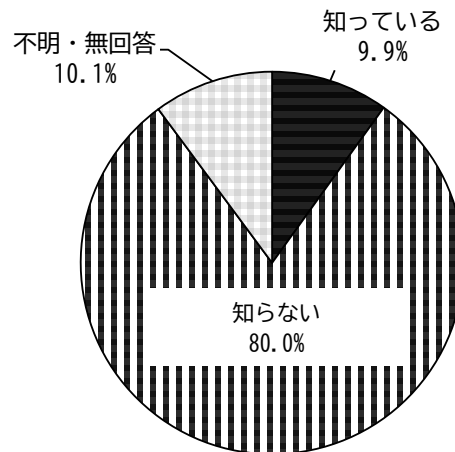
悩みや不安を相談しようと思わない理由については、「家族や友人・知人に相談する」が64.0%と最も高く、次いで「相談しても解決しないと思う」が43.2%となっています。



(4) 専門家による相談・居場所事業について

問22 相談事業、居場所事業についてうかがいます。専門家による相談について知っていますか。

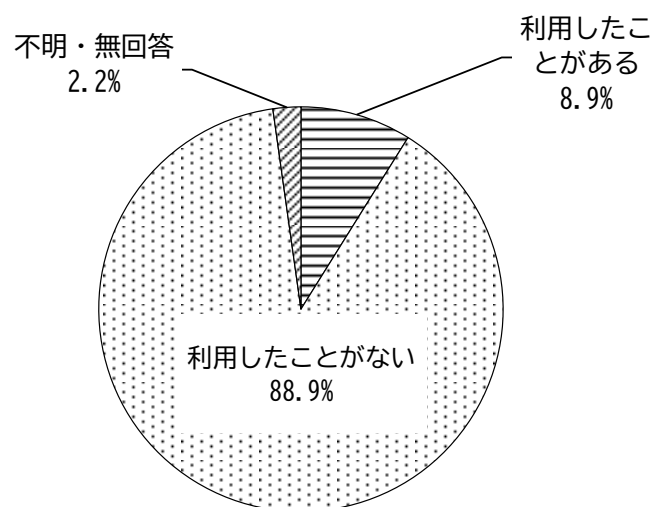
専門家による相談について知っているかについては、「知らない」が80.0%、「知っている」が9.9%となっています。



(n = 454)

問22-1 問22で「知っている」と回答した方に伺います。専門家による相談を利用したことはありますか。

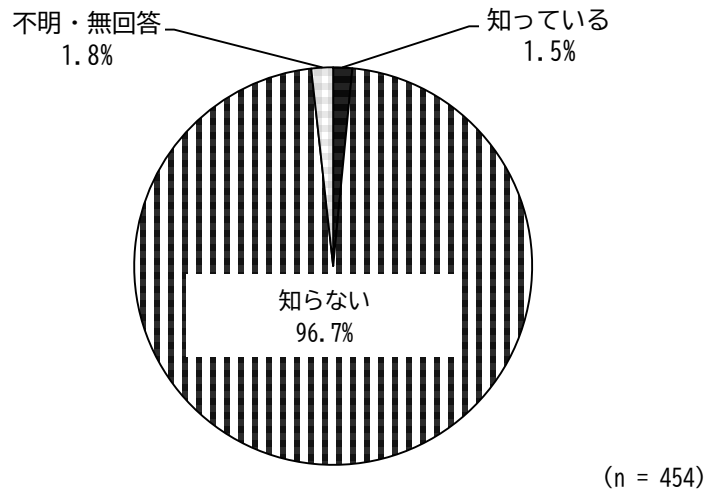
専門家による相談を利用したことがあるかについては、「利用したことがない」が88.9%、「利用したことがある」が8.9%となっています。



(n = 45)

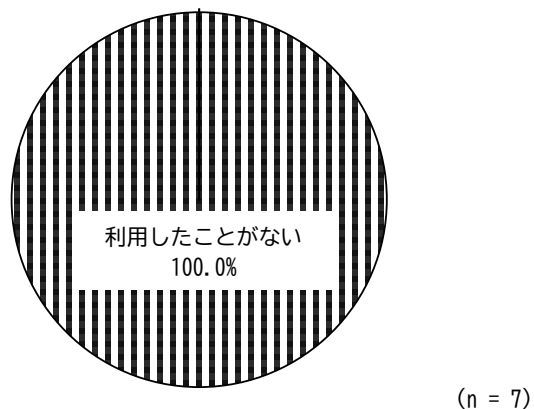
問22-2 「居場所事業」について知っていますか。

居場所事業について知っているかについては、「知らない」が96.7%、「知っている」が1.5%となっています。



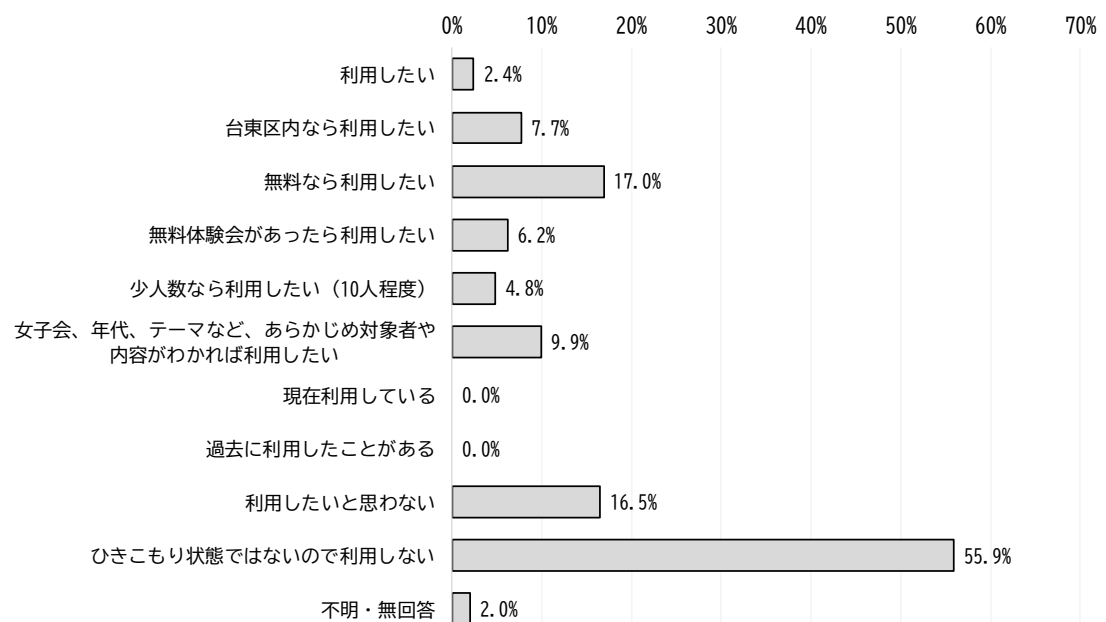
問22-3 問22-2で「知っている」と回答した方にうかがいます。「居場所事業」を利用したことはありますか。

居場所事業を利用したことがあるかについては、7名中全員が「利用したことがない」と回答しています。



問23 居場所事業（区外施設・利用料一部自己負担有）を利用したいと思いますか。
（複数回答）

居場所事業を利用したいと思うかについては、「ひきこもり状態ではないので利用しない」が55.9%と最も高く、次いで「無料なら利用したい」が17.0%、「利用したいと思わない」が16.5%の順となっています。



(n =454)

【参考】居場所事業プログラム（令和5年10月時点）

※ 初めて利用される方は3か月間無料

- ゆったりスペース（月2回：利用者負担3,000円/月）
フリータイムが主な活動
- ほっとスペース（週2回：利用者負担12,000円/月）
フリータイム、コミュニケーションゲームなど
- SSTグループ（週2回：利用者負担12,000円/月）
フリータイム、ソーシャル・スキル・トレーニングなど

区に望む支援や取組みについて、ご自由にお書きください。

区への要望や意見は106件であり、主な内容は、「情報発信に関すること」「医療に関すること」「経済的支援に関すること」などとなっています。

● 情報発信に関すること

- ・取り組んでいることや、補助金の内容など、もっと分かりやすく情報発信を整備すべき（ITを使う。行政サービスはアナログが多い）。
- ・子供に対する支援の内容や情報が手に入りにくい（どこで何をやっているかをどのように知るかがわからない）。小学校の入学時等、こちらから聞きに行かないと全くわからないのではなく、区からもっと発信をしてほしい。

● 医療に関すること

- ・若者の課題解決に鬱病、精神病の予防に関しても取り組んでもらいたい。
- ・深夜、夜間に子供を医療機関で診てもらえる制度を作してほしい。
- ・病後児保育だけでなく、病児保育を実施してほしい。

● 経済的支援に関すること

- ・住宅の改善補助費や支援がほしい。
- ・低所得者や子育て世帯だけでなく、独身で仕事を頑張っている世代に対しても給付金などの支援がほしい。
- ・区内のスーパーで使える金券等を配って、若い世代の支援をしてほしい。日用品や食料品の値上がりが著しすぎて生活が厳しい。

● その他

- ・紙の利用をなるべく少なくしてほしい。以前区役所で諸手続きを行なった際、紙が多くて管理にとっても困った。手続き自体もより簡素に、Webを利用してほしい。
- ・本当に必要としている人に、適切な支援が届くようなアプローチ、工夫を考えてほしい。
- ・治安の悪さが目立つ地域を減らしてほしい、夜は特に警察と連携してパトロールしてほしい。
- ・昔から住んでいる人や高齢者も安心して暮らせる街にしてほしい。

（意見を一部抜粋し、類似の意見はまとめています）

資料

調查票

集計表